

澁川市男女共同参画に関する  
市民意識調査及び事業所実態調査  
〈結果報告書〉

澁川市  
平成30年3月



# 目次

1. 調査概要.....	1
1-1 調査の目的.....	1
1-2 調査の内容.....	1
1-3 調査の実施要領.....	1
1-4 回答状況.....	2
1-5 集計にあたって.....	2
1-6 調査項目見出し.....	3
2. 市民意識調査.....	4
2-1 あなたとあなたの家族について.....	4
2-2 職場に関する意識について.....	15
2-3 家庭生活に関する意識について.....	27
2-4 男女共同参画社会に関する意識について.....	55
2-5 恋人や配偶者からの暴力について.....	76
2-6 地域における男女共同参画の推進について.....	84
2-7 男女共同参画社会の実現に向けて.....	96
3. 事業所実態調査.....	109
3-1 貴事業所の概要.....	109
3-2 女性管理職の登用について.....	111
3-3 ポジティブ・アクションについて.....	113
3-4 ワーク・ライフ・バランスについて.....	114
3-5 男女共同参画社会の実現に向けて.....	116
資料.....	117



# 1. 調査概要

## 1-1 調査の目的

本調査は、満 18 歳以上の市民を対象に、男女共同参画についての市民の意識や実態の把握、また、男女共同参画について市内の事業所における取組や制度などについて把握し、両調査結果を「第 2 次渋川市男女共同参画計画」の策定に向けての基礎資料とするとともに、今後の渋川市の男女共同参画に関する施策に反映させていくことを目的としている。

## 1-2 調査の内容

### (1) 男女共同参画に関する市民意識調査

- ア 職場に関する意識について
- イ 家庭生活に関する意識について
- ウ 男女共同参画社会に関する意識について
- エ 恋人や配偶者からの暴力について
- オ 地域における男女共同参画の推進について
- カ 男女共同参画社会の実現に向けて

### (2) 男女共同参画に関する事業所実態調査

- ア 女性管理職の登用について
- イ ポジティブ・アクションについて
- ウ ワーク・ライフ・バランスについて
- エ 男女共同参画社会の実現に向けて

## 1-3 調査の実施要領

### (1) 男女共同参画に関する市民意識調査

- ア 調査対象 市内在住の満 18 歳以上の男女
- イ 標本数 2,000 人
- ウ 抽出方法 層化 2 段無作為抽出法（平成 29 年 8 月 15 日現在、住民基本台帳による）
- エ 調査方法 郵送による配布・回収
- オ 調査期間 平成 29 年 8 月 25 日～9 月 11 日

## (2)男女共同参画に関する事業所実態調査

- ア 調査対象 市内に事業所を有する企業・事業所
- イ 標本数 50 事業所
- ウ 抽出方法 市が所有する法人情報を基にした無作為抽出
- エ 調査方法 郵送による配布・回収
- オ 調査期間 平成 29 年 8 月 25 日～9 月 11 日

## 1-4 回答状況

### (1)男女共同参画に関する市民意識調査

- ア 配布数 2,000 件
- イ 有効回答数 880 件(女性 499 件、男性 378 件、無回答 3 件)
- ウ 有効回収率 44.0%

### (2)男女共同参画に関する事業所実態調査

- ア 配布数 50 件
- イ 有効回答数 26 件
- ウ 有効回収率 52.0%

## 1-5 集計にあたって

回答は、回答数を分母とした百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

ひとつの質問に対して複数回答を求める質問では、回答率の合計が100%を超える場合がある。

グラフにおける性別、年齢別などの集計結果については、性別・年齢の無回答を除いて表記しているため、内訳の分母の合計(全体)と全体の分母の合計が一致しない場合がある。

また、性別や年齢別以外の職業別、婚姻状況別などの詳細なクロス集計結果から、傾向のみられる点を記述している。

本冊で前回調査・県調査・国調査は以下のとおりである。

前回調査：平成 24 年度実施 渋川市男女共同参画に関する市民意識調査

県調査：平成 27 年度実施 男女共同参画社会に関する県民意識調査

国調査：男女共同参画に関する世論調査(平成 28 年 9 月調査)

## 1-6 調査項目見出し

調査項目の見出し	ページ
<b>市民意識調査</b>	
2-1 あなたとあなたの家族について	4
問2 年齢	4
問3 居住地域	4
問4 世帯構成	5
問5 未婚	5
問5-1 共働きか	6
問6 子どもの有無	6
問7 介護や支援を必要とする家族の有無	7
問8 収入のある仕事	8
問8-1 主たる職業	9
問8-2 ①1週間の就業日数	10
問8-2 ②1週間の就業時間	10
問8-3 一定期間離職の有無	12
問8-4 これまでの就業状況	13
問8-5 今後、収入のある仕事をしたいか	14
2-2 職場に関する意識について	15
問1 あなたの職場について	15
問2 課長職以上の女性の登用	18
問3 職場(会社)にある制度や計画	19
問4 決定過程に女性が進出しにくい理由	20
問5 働きやすい環境をつくるために必要なこと	22
問6 女性の活躍推進に必要なこと	25
2-3 家庭生活に関する意識について	27
問7 結婚・家庭・離婚に関する意識	27
①結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてよい	27
②結婚したら夫婦は同じ姓を名乗る	29
③結婚しても子どもを持つことにこだわらなくてよい	30
④結婚してもうまくいかなければ離婚してもよい	32
問8 「男は仕事、女は家庭」という考え方について	34
問9 家庭生活の優先度	35
①あなたの現実(現状)	35
②あなたの希望	35
問10 一般的に女性が仕事をもつことについての考え	40
問11 家庭内の分担について	42
①家事(炊事・洗濯・掃除)	42
②育児	44
③看護・介護	46
④学校行事などへの参加	48
⑤自治会などの地域活動	50
⑥家計の管理	52
⑦収入を得る	53
2-4 男女共同参画社会に関する意識について	55
問12 男女の地位	55
①家庭生活では	56
②職場では	58
③学校教育の場では	60
④政治の場では	62
⑤地域活動の中では	64
⑥法律や制度では	66
⑦社会通念、慣習・しきたりなどでは	68
⑧社会全体では	70
問13 男女共同参画社会に関連する言葉の認知	72

調査項目の見出し	ページ
2-5 恋人や配偶者からの暴力について	76
問14 恋人や配偶者からの暴力	76
問14-1 受けた暴力	78
問14-2 暴力を受けたときの相談相手	80
問14-3 相談しなかった理由	81
2-6 地域における男女共同参画の推進について	84
問15 参加している地域活動	84
問15-1 参加した地域活動の場の状況	87
問16 今後参加したいと思う地域活動	89
問17 男女の積極的な参画に必要なこと	93
問18 安心して子どもを生み育てるため必要な事	96
問19 男女共同参画社会のため力を入れるべき事	99
自由記述	103
<b>事業所実態調査</b>	
3-1 貴事業所の概要	109
問1 貴事業所(貴社)の概要について	109
①主たる業種	109
②総従業員数	109
③役員員数(課長職以上)	110
3-2 女性管理職の登用について	111
問2 管理職をどのように登用しているか	111
問3 女性を管理職に登用しない・しにくい理由	111
問4 女性を管理職に登用するために必要な取組	112
3-3 ポジティブ・アクションについて	113
問5 ポジティブ・アクションの実施状況	113
問6 ポジティブ・アクションの効果	113
3-4 ワーク・ライフ・バランスについて	114
問7 残業の削減のための取組	114
問8 有給休暇の取得促進のための取組	114
問9 男性従業員の育児や介護への関わり	115
問10 育児休業や介護休業の取得実績	115
①育児休業の取得	115
②介護休業の取得	116
3-5 男女共同参画社会の実現に向けて	116
問11 男女共同参画社会のため力を入れるべき事	116
自由記述	116

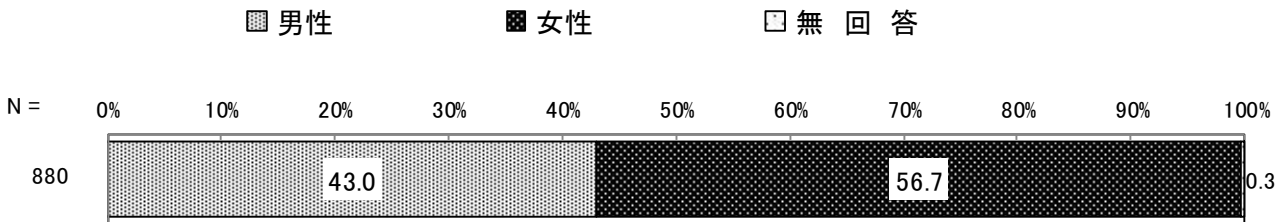
## 2. 市民意識調査

### 2-1 あなたとあなたの家族について

問1 あなたの性別は。

「女性」が56.7%で、「男性」は43.0%である。

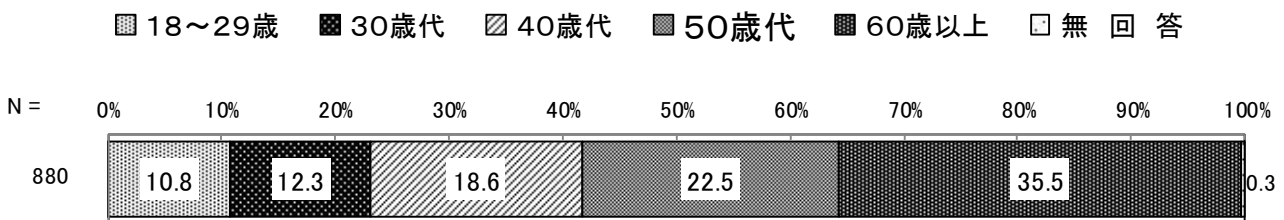
F1 性別[%]



問2 あなたの年齢は。平成29年8月1日現在の満年齢でお答えください。

「60歳以上」が35.5%で最も多く、「50歳以上」が22.5%、「40歳以上」が18.6%と続いている。  
年齢が若くなるにつれて割合が低くなっている。

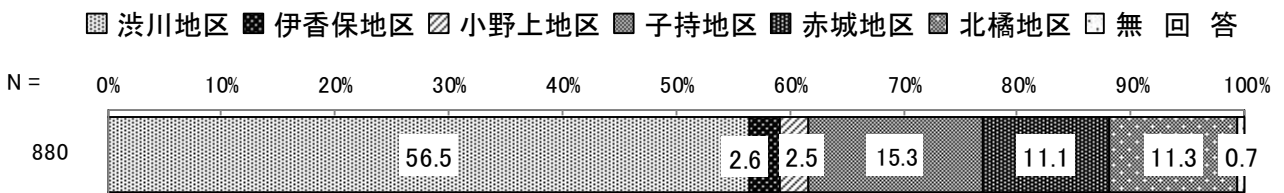
F2 年齢[%]



問3 あなたのお住まいはどこですか。

「渋川地区」が56.5%と半数を超えている。次いで「子持地区」が15.3%、「北橘地区」が11.3%、「赤城地区」が11.1%である。

F3 居住地域[%]

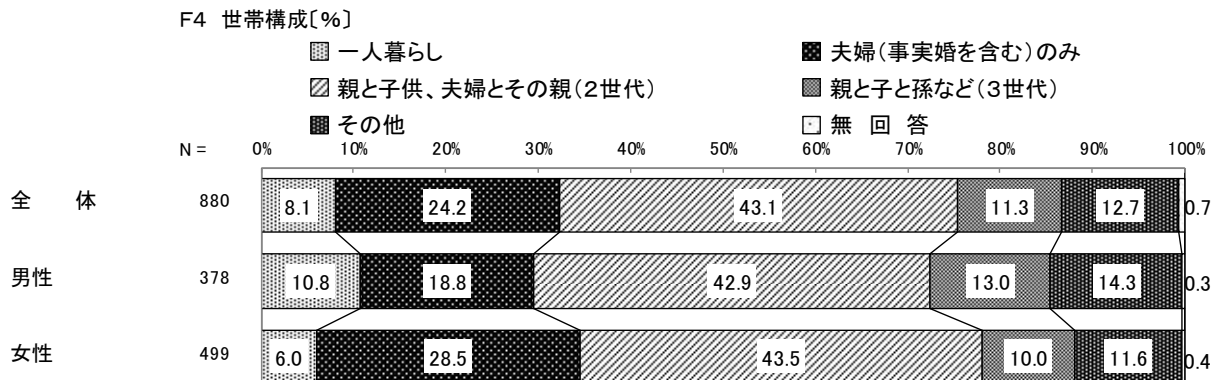




#### 問4 あなたの世帯構成は次のどれですか。

全体では、「親と子供、夫婦とその親（2世代）」が43.1%と最も多く、次いで「夫婦（事実婚を含む）のみ」が24.2%である。

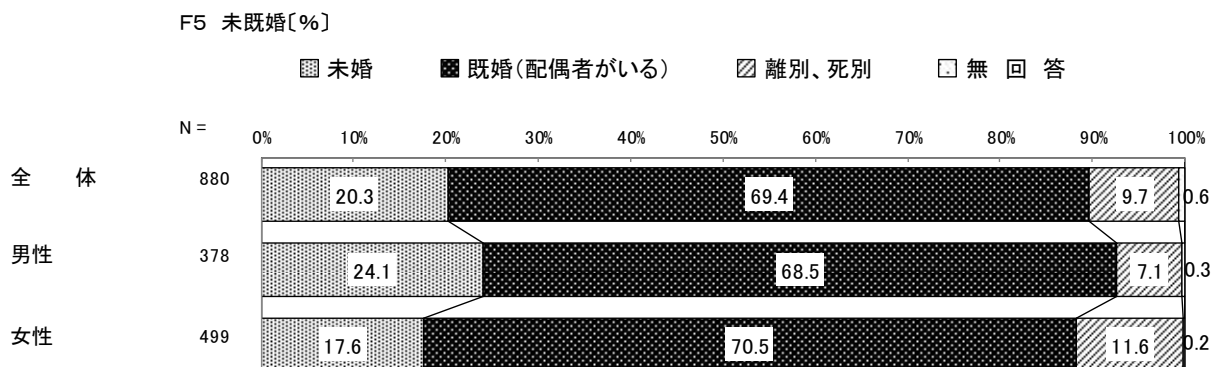
性別では、「夫婦（事実婚を含む）のみ」は女性で28.5%と多い。



#### 問5 あなたは結婚（事実婚を含む）されていますか。

全体では、「既婚（配偶者がいる）」が69.4%と最も多く、次いで「未婚」が20.3%である。

性別では、男性は「未婚」が24.1%とやや多い。



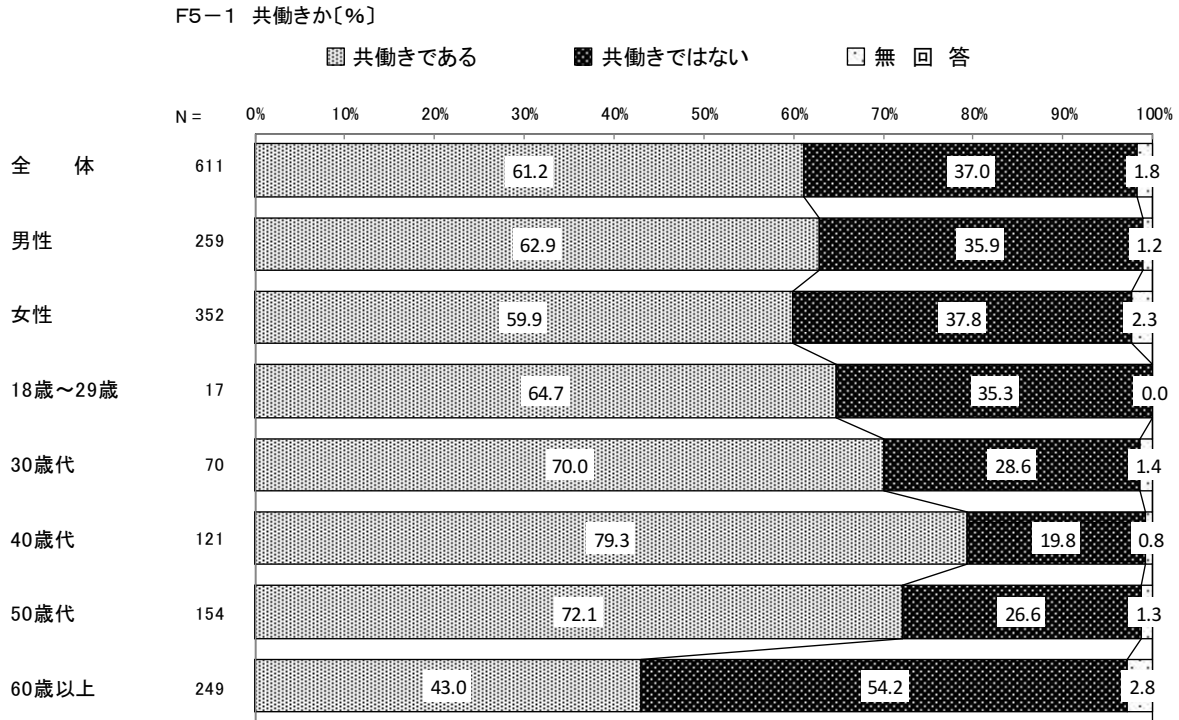
## 問5-1 【問5で「2 既婚（配偶者がいる）」と答えた方】

### あなたのご家庭は共働きですか。

全体では、「共働きである」が61.2%と多く、「共働きではない」は37.0%である。

性別では、「共働きである」が男性は62.9%とやや多く、女性は59.9%とやや少ない。

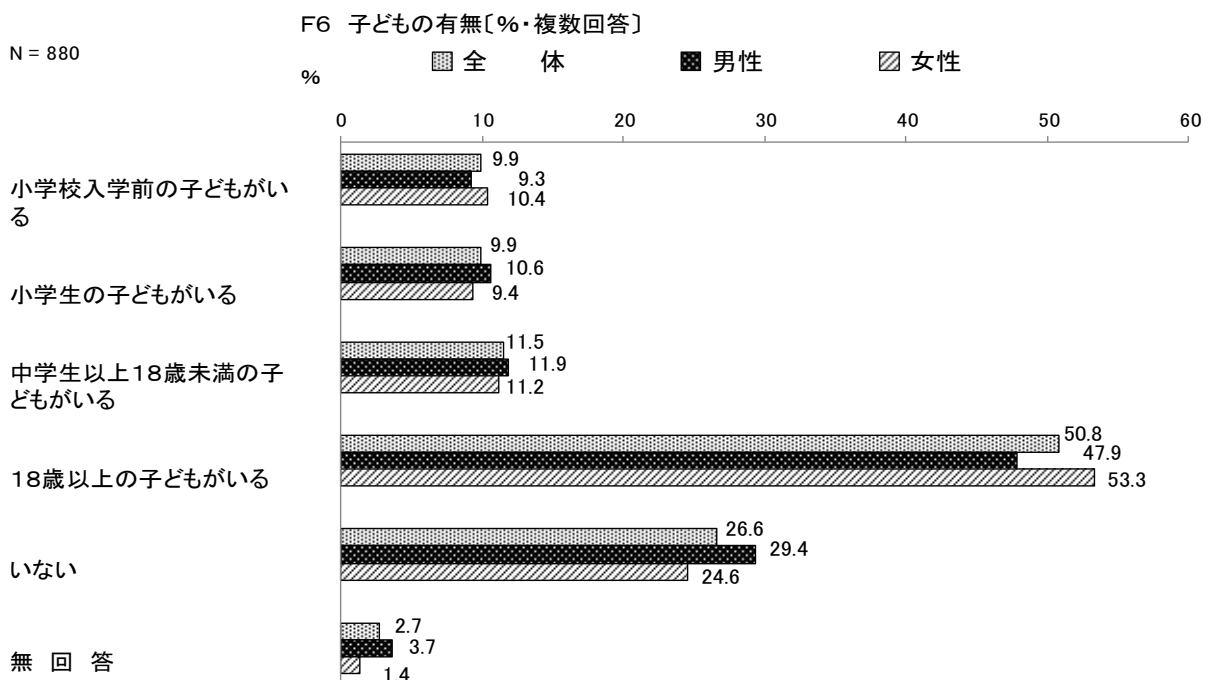
年齢別では「共働きである」は40歳代が79.3%と最も多く、「共働きでない」は60歳以上で54.2%と多くなっている。



## 問6 あなたには、お子さんがいますか。

全体では、「18歳以上の子どもがいる」が50.8%と最も多く、次いで「いない」が26.6%、「中学生以上18歳未満の子どもがいる」が11.5%となっている。

性別では、男性で「いない」が29.4%とやや多く、女性で「18歳以上の子どもがいる」が53.3%とやや多い。



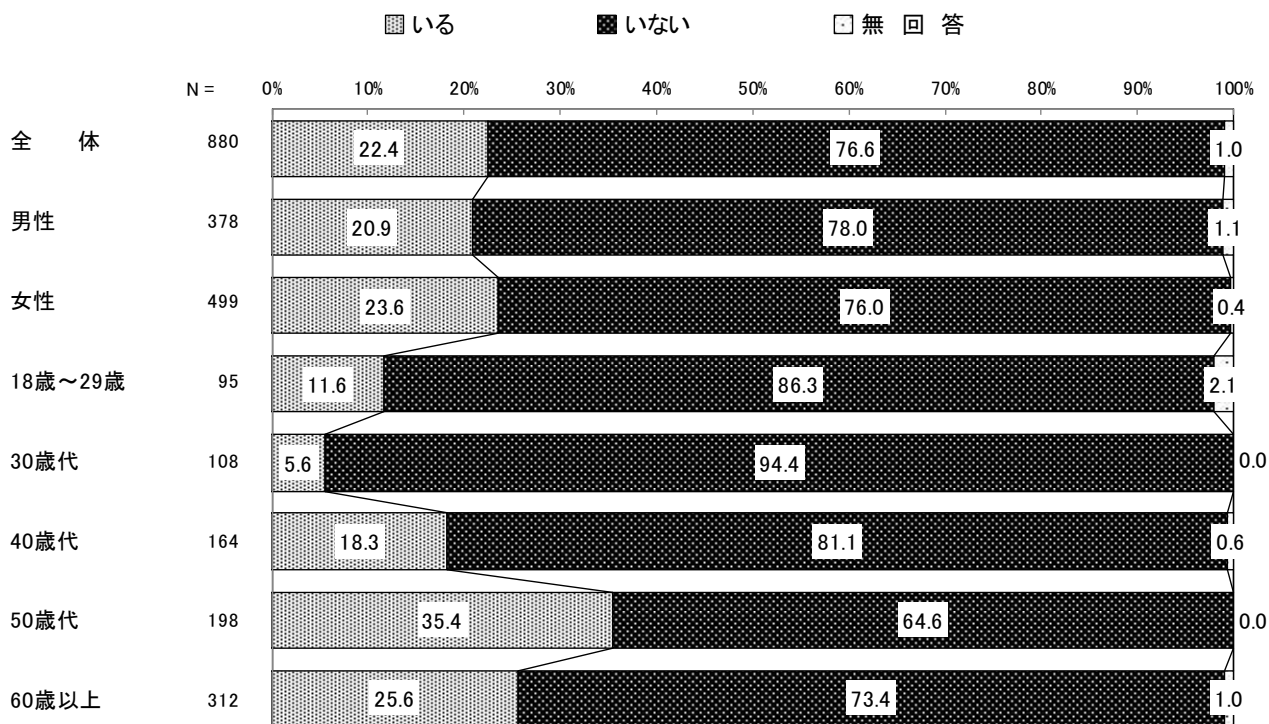
問7 あなたには、現在、病気、高齢、障がいなどで日常生活において介護や支援を必要とする家族等がいますか。

全体では、「いない」が76.6%と多く、「いる」は22.4%である。

性別では、「いる」は男性が20.9%、女性が23.6%である。

年齢別では、「いる」は30歳代で5.6%と少なく、50歳代で35.4%と多い。

F7 介護や支援を必要とする家族の有無[%]

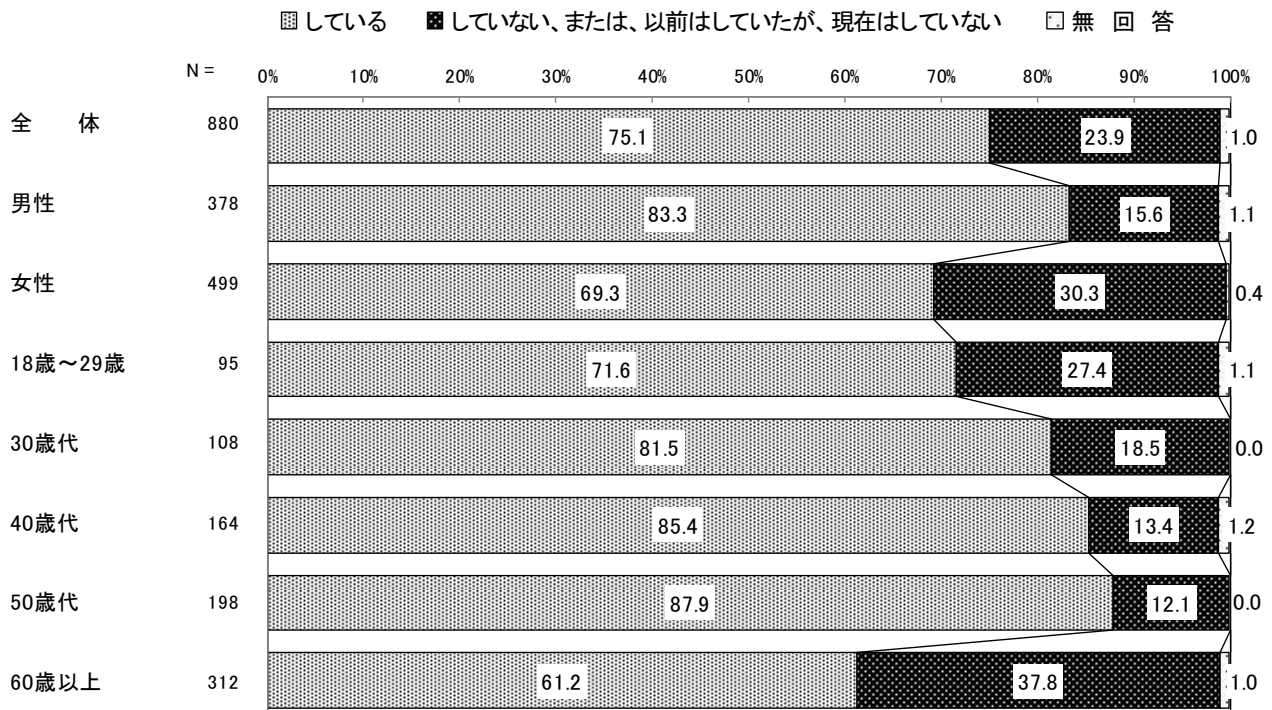


## 問8 現在、収入のある仕事をしていますか。

全体では、「している」が75.1%と多い。

性別では、「している」は男性が83.3%と多く、女性は69.3%である。

F8 収入のある仕事[%]



### 【詳細分析】

年齢×性別では、「している」は30～50歳代の男性は90%を超えている。

(単位：人、%)

		合計	している	たはして が、以 い前 ない 現在 はは して いた	無 回 答
全 体		880	75.1	23.9	1.0
年 齢 × 性 別	18～29歳-男性	43	74.4	25.6	-
	18～29歳-女性	52	69.2	28.8	1.9
	30歳代-男性	46	93.5	6.5	-
	30歳代-女性	62	72.6	27.4	-
	40歳代-男性	68	91.2	5.9	2.9
	40歳代-女性	96	81.3	18.8	-
	50歳代-男性	83	94.0	6.0	-
	50歳代-女性	115	83.5	16.5	-
	60歳以上-男性	138	72.5	26.1	1.4
	60歳以上-女性	174	52.3	47.1	0.6

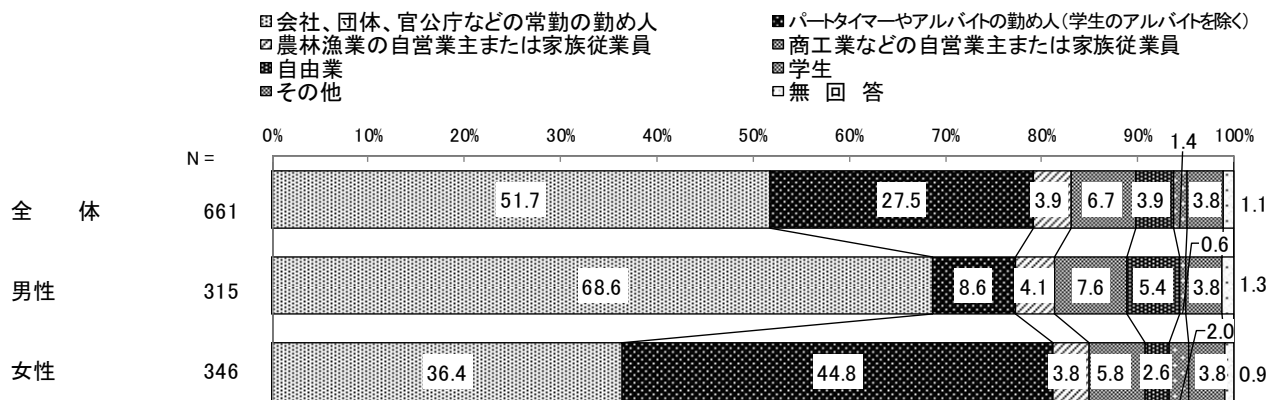
## 問 8-1 【問 8 で「1 収入のある仕事をしている」と答えた方】

### あなたの主たる職業は何ですか。

全体では、「会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人」が51.7%と半数を超え、次いで「パートタイマーやアルバイトの勤め人（学生のアルバイトを除く）」が27.5%で、合わせて79.2%が勤め人となっている。

性別では、男性は「会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人」が68.6%、女性は「パートタイマーやアルバイトの勤め人（学生のアルバイトを除く）」が44.8%と最も多い。

F8-1 主たる職業【%】



### 【詳細分析】

年齢×性別では、18歳から50歳代の男性で「会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人」が70%以上で多い。女性は18～29歳で「会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人」が多く、30歳代と60歳以上で「パートタイマーやアルバイトの勤め人（学生のアルバイトを除く）」が50%を超えて多い。

(単位：人、%)

	合計	会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人	パートタイマーやアルバイトの勤め人(学生のアルバイトを除く)	農林漁業の自営業主または家族従業員	商工業などの自営業主または家族従業員	自由業	学生	その他	無回答
全体	661	51.7	27.5	3.9	6.7	3.9	1.4	3.8	1.1
年齢×性別	18～29歳-男性	32	87.5	-	3.1	-	6.3	3.1	-
	18～29歳-女性	36	52.8	19.4	2.8	5.6	-	19.4	-
	30歳代-男性	43	81.4	7.0	2.3	7.0	2.3	-	-
	30歳代-女性	45	40.0	51.1	-	4.4	2.2	-	2.2
	40歳代-男性	62	74.2	-	3.2	14.5	1.6	-	3.2
	40歳代-女性	78	39.7	46.2	1.3	3.8	1.3	-	6.4
	50歳代-男性	78	80.8	2.6	-	5.1	5.1	-	5.1
	50歳代-女性	96	43.8	39.6	3.1	5.2	3.1	-	4.2
	60歳以上-男性	100	44.0	22.0	9.0	8.0	11.0	-	5.0
	60歳以上-女性	91	17.6	56.0	8.8	8.8	4.4	-	4.4

## 問8-2 【問8で「1 収入のある仕事をしている」と答えた方】

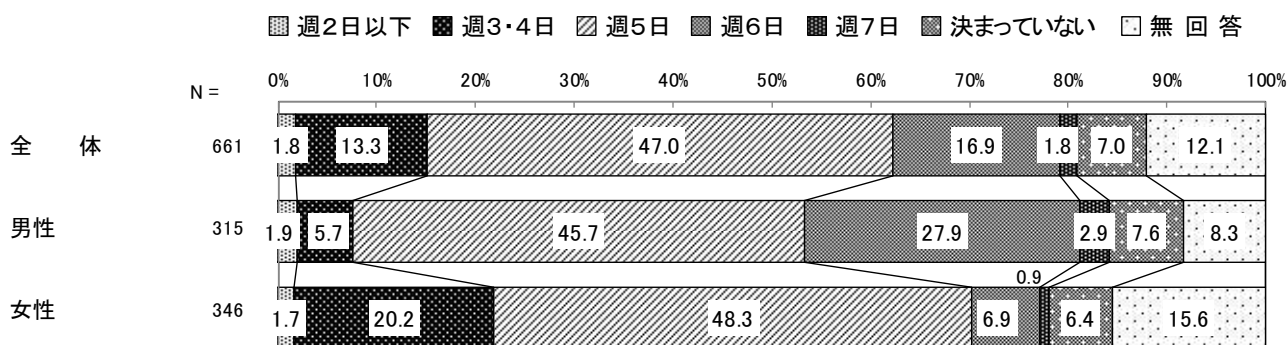
あなたの週平均の就業状況をお答えください。

### ① 1週間の就業日数

全体では、「週5日」が47.0%で最も多い。

性別では、男性は「週6日」が27.9%、女性は「週3・4日」が20.2%とやや多くみられる。

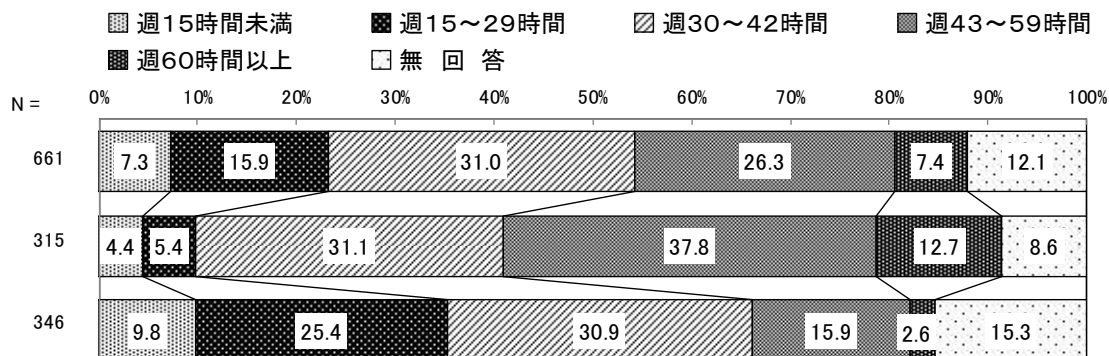
F8-2 ①1週間の就業日数[%]



### ② 1週間の就業時間

全体では、「週30～42時間」が31.0%、次いで「週43～59時間」が26.3%となっている。

性別では、男性は「週43～59時間」が37.8%、女性は「週30～42時間」が30.9%と多い。女性は「週15～29時間」も25.4%と多くなっている。



【詳細分析】

年齢×性別では、「週43～59時間」について、30歳代と50歳代の男性で50%以上と多い。「週15～29時間」については30歳代、40歳代の女性で30%前後と多い。18～40歳代の男性は、「週60時間以上」についても18%前後みられる。

就業状況別では、会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人は、「週30～42時間」が42.1%、「週43～59時間」が40.1%と多い。

(単位：人、%)

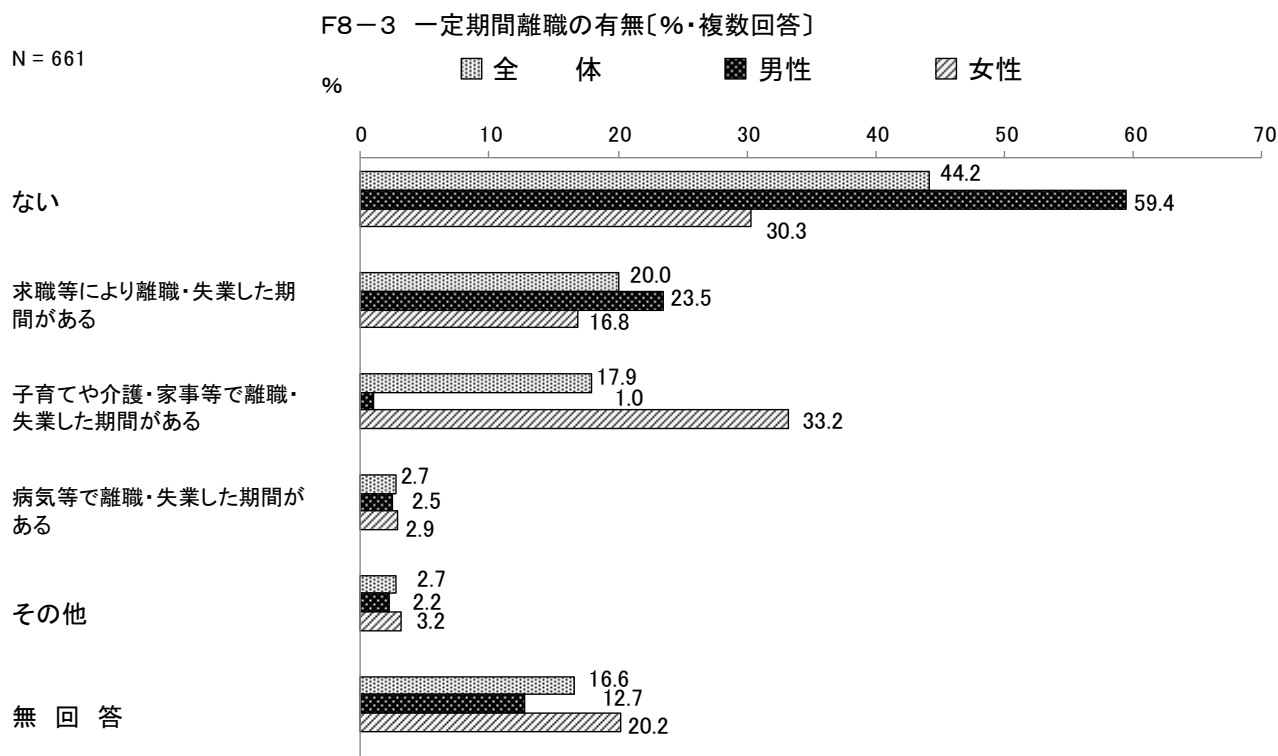
		合計	時間 週 1 5 未 満	2 週 9 1 時 5 間	4 週 2 3 時 0 間	5 週 9 4 時 3 間	時間 週 6 0 以上	無 回 答
全 体		661	7.3	15.9	31.0	26.3	7.4	12.1
年 齢 × 性 別	18～29歳-男性	32	6.3	-	31.3	37.5	18.8	6.3
	18～29歳-女性	36	8.3	19.4	33.3	27.8	5.6	5.6
	30歳代-男性	43	4.7	-	18.6	53.5	18.6	4.7
	30歳代-女性	45	6.7	35.6	37.8	6.7	-	13.3
	40歳代-男性	62	1.6	1.6	30.6	35.5	17.7	12.9
	40歳代-女性	78	6.4	28.2	26.9	16.7	2.6	19.2
	50歳代-男性	78	2.6	1.3	33.3	50.0	7.7	5.1
	50歳代-女性	96	5.2	22.9	39.6	15.6	1.0	15.6
	60歳以上-男性	100	7.0	15.0	35.0	23.0	9.0	11.0
	60歳以上-女性	91	19.8	23.1	20.9	15.4	4.4	16.5
就 業 状 況	会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人	342	2.9	2.9	42.1	40.1	10.2	1.8
	パートタイマーやアルバイトの勤め人（学生のアルバイトを除く）	182	14.3	45.1	19.8	1.6	0.5	18.7
	農林漁業の自営業主または家族従業員	26	3.8	3.8	15.4	30.8	23.1	23.1
	商工業などの自営業主または家族従業員	44	4.5	9.1	18.2	29.5	9.1	29.5
	自由業	26	15.4	7.7	15.4	23.1	3.8	34.6
	学生	9	22.2	44.4	-	-	-	33.3
	その他	25	12.0	8.0	36.0	24.0	4.0	16.0

### 問8-3 【問8で「1 収入のある仕事をしている」と答えた方】

現在の職業につくまでに、一定期間離職したことはありますか。

全体では、「ない」が44.2%と最も多く、「求職等により離職・失業した期間がある」が20.0%回答されている。

性別では、男性は「ない」が59.4%で、女性は「子育てや介護・家事等で離職・失業した期間がある」が33.2%、「ない」が30.3%となっている。



#### 【詳細分析】

年齢×性別では、「ない」は50歳代の男性で64.1%と多く、「子育てや介護・家事等で離職・失業した期間がある」は40歳代、50歳代の女性で40%を超えている。

(単位：人、%)

	合計	ない	求職等により離職した期間がある	子育てや介護・家事等で離職した期間がある	病気等で離職した期間がある	その他	無回答	
全体	661	44.2	20.0	17.9	2.7	2.7	16.6	
年齢×性別	18～29歳-男性	32	65.6	15.6	-	-	3.1	15.6
	18～29歳-女性	36	55.6	22.2	11.1	-	2.8	11.1
	30歳代-男性	43	62.8	25.6	-	2.3	2.3	7.0
	30歳代-女性	45	26.7	26.7	31.1	4.4	4.4	17.8
	40歳代-男性	62	54.8	32.3	-	1.6	1.6	9.7
	40歳代-女性	78	24.4	12.8	42.3	3.8	1.3	24.4
	50歳代-男性	78	64.1	23.1	-	1.3	-	12.8
	50歳代-女性	96	26.0	14.6	40.6	4.2	1.0	19.8
	60歳以上-男性	100	55.0	20.0	3.0	5.0	4.0	16.0
	60歳以上-女性	91	31.9	15.4	27.5	1.1	6.6	22.0



## 問8-4 【問8で「2 収入のある仕事をしていない、または、以前はしていたが現在はしていない」と答えた方】

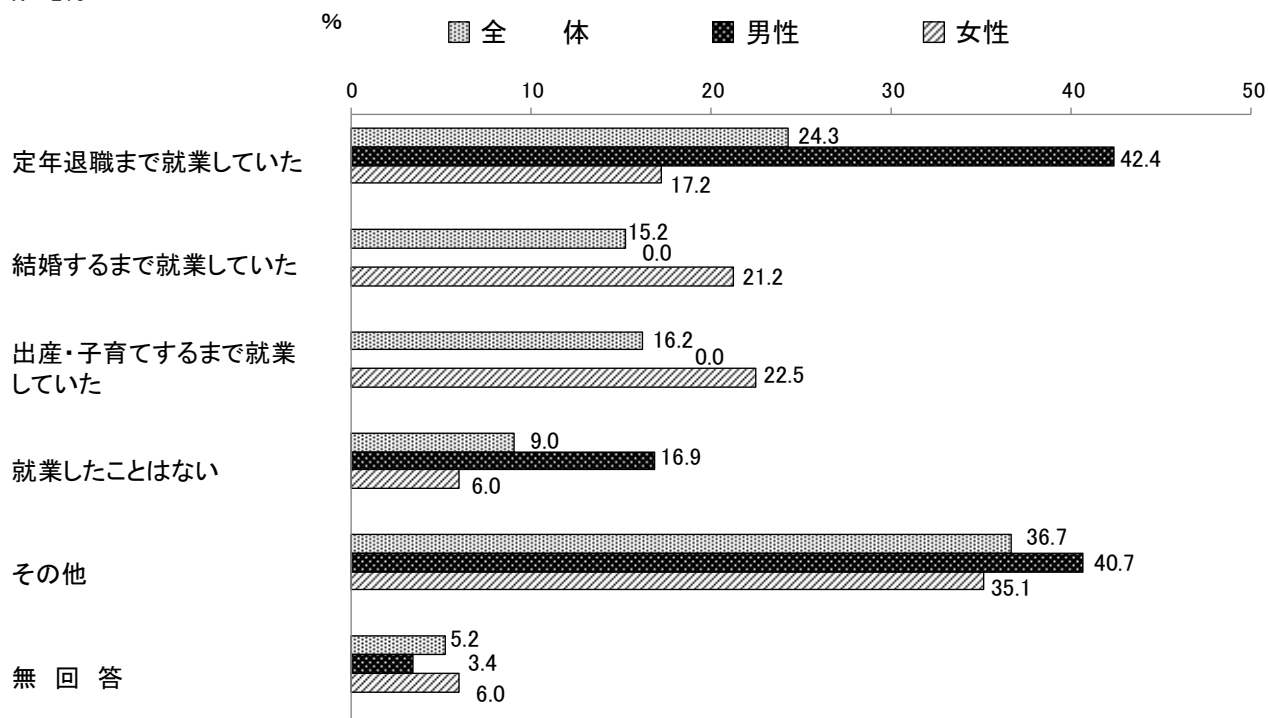
これまでの就業状況であてはまるものをお答えください。

全体では、「定年退職まで就業していた」が24.3%と多く、「出産・子育てするまで就業していた」が16.2%、「結婚するまで就業していた」が15.2%と続いている。

性別では、男性は「定年退職まで就業していた」が42.4%と多い。女性は「出産・子育てするまで就業していた」が22.5%、「結婚するまで就業していた」が21.2%となっている。

F8-4 これまでの就業状況[%・複数回答]

N = 210



### 【詳細分析】

年齢×性別では、60歳以上の男性で、「定年退職まで就業していた」が69.4%と多い。40歳代の女性で、「出産・子育てするまで就業していた」が55.6%、50歳代の女性で、「結婚するまで就業していた」が52.6%と多い。

(単位：人、%)

		合計	就定 業年 し退 て職 いま たで	就結 業婚 しす て いま たで	す出 する 産 ま・ い子 で た 就 育 業 て	就 業 し た こ と は な い	そ の 他	無 回 答
全 体		210	24.3	15.2	16.2	9.0	36.7	5.2
年 齢 × 性 別	18～29歳-男性	11	-	-	-	72.7	27.3	-
	18～29歳-女性	15	-	6.7	26.7	26.7	33.3	6.7
	30歳代-男性	3	-	-	-	33.3	66.7	-
	30歳代-女性	17	-	23.5	35.3	5.9	35.3	-
	40歳代-男性	4	-	-	-	-	100.0	-
	40歳代-女性	18	-	5.6	55.6	5.6	38.9	-
	50歳代-男性	5	-	-	-	20.0	60.0	20.0
	50歳代-女性	19	-	52.6	15.8	-	47.4	-
	60歳以上-男性	36	69.4	-	-	-	33.3	2.8
	60歳以上-女性	82	31.7	19.5	13.4	3.7	31.7	9.8

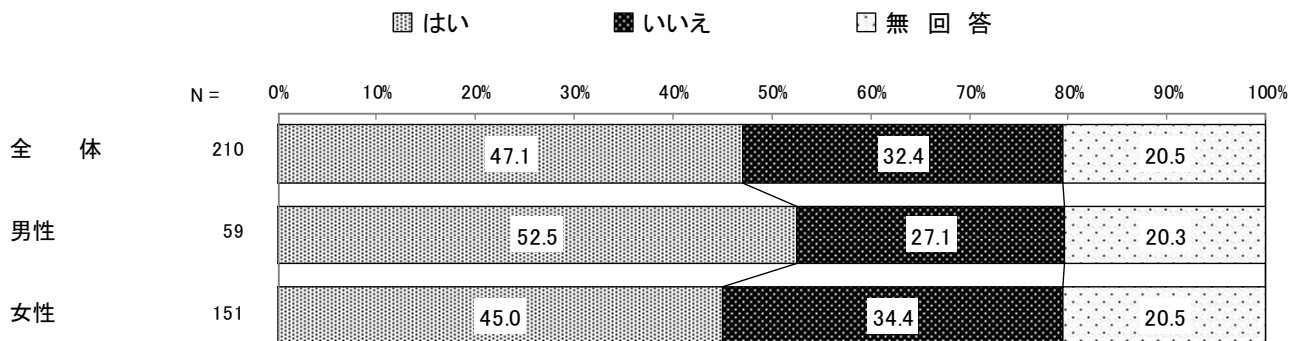
問8-5 【問8で「2 収入のある仕事をしていない、または、以前はしていたが現在はやしていない」と答えた方】

今後、収入のある仕事をしたいと思いますか。

全体では、「はい」が47.1%、「いいえ」が32.4%である。

性別では、男性は「はい」が52.5%とやや多い。

F8-5 今後、収入のある仕事をしたいか〔%〕



【詳細分析】

年齢別では、「はい」は40歳代が90.9%と多く、50歳代で54.2%、60歳以上では28.8%と少なくなっている。

(単位：%)

	はい	いいえ	無回答
全体	47.1	32.4	20.5
18歳～29歳	69.2	3.8	26.9
30歳代	70.0	5.0	25.0
40歳代	90.9	0.0	9.1
50歳代	54.2	33.3	12.5
60歳以上	28.8	49.2	22.0

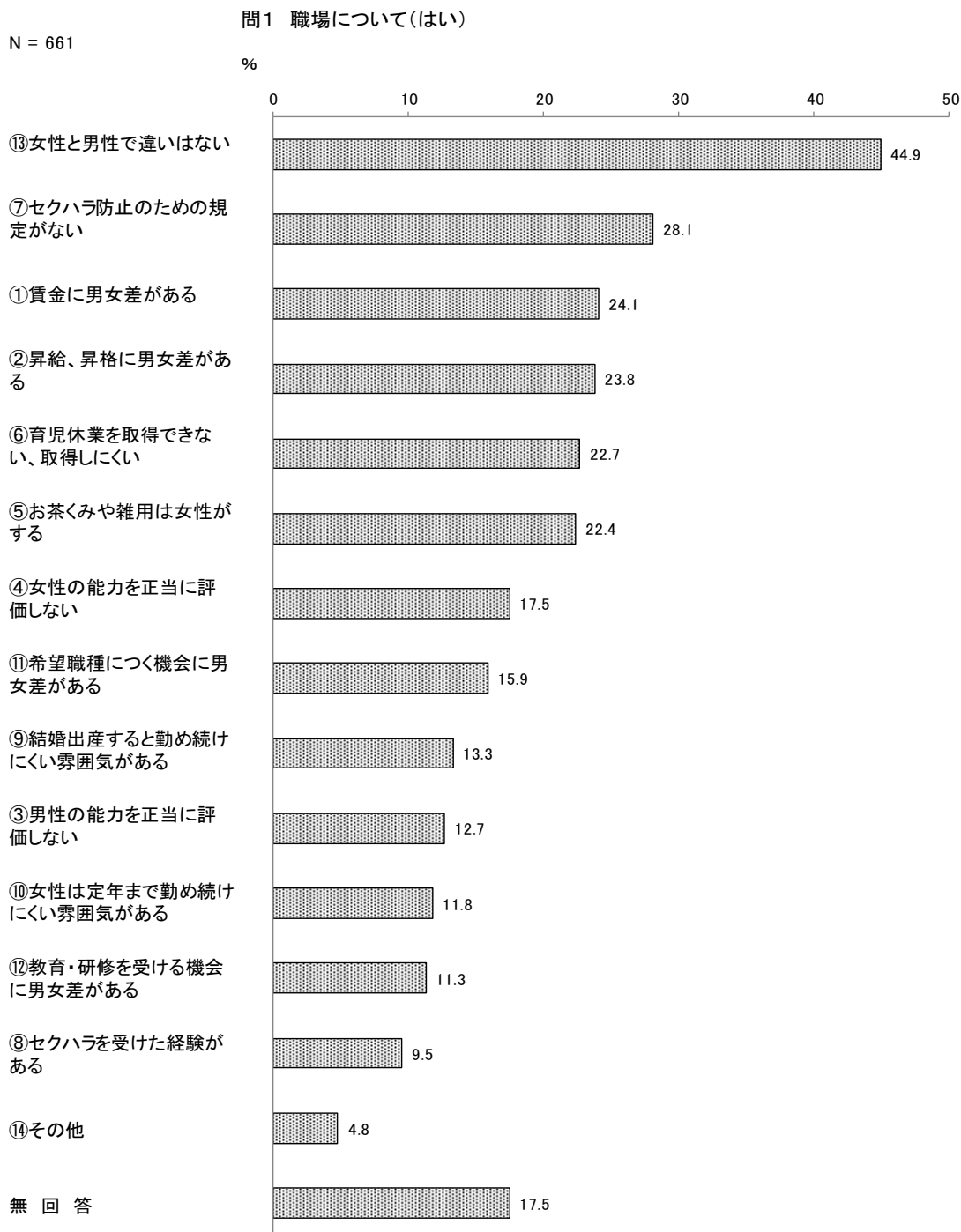
## 2-2 職場に関する意識について

### 【現在収入のある職業についている方】

問1 あなたの職場について①～⑭をお答えください。

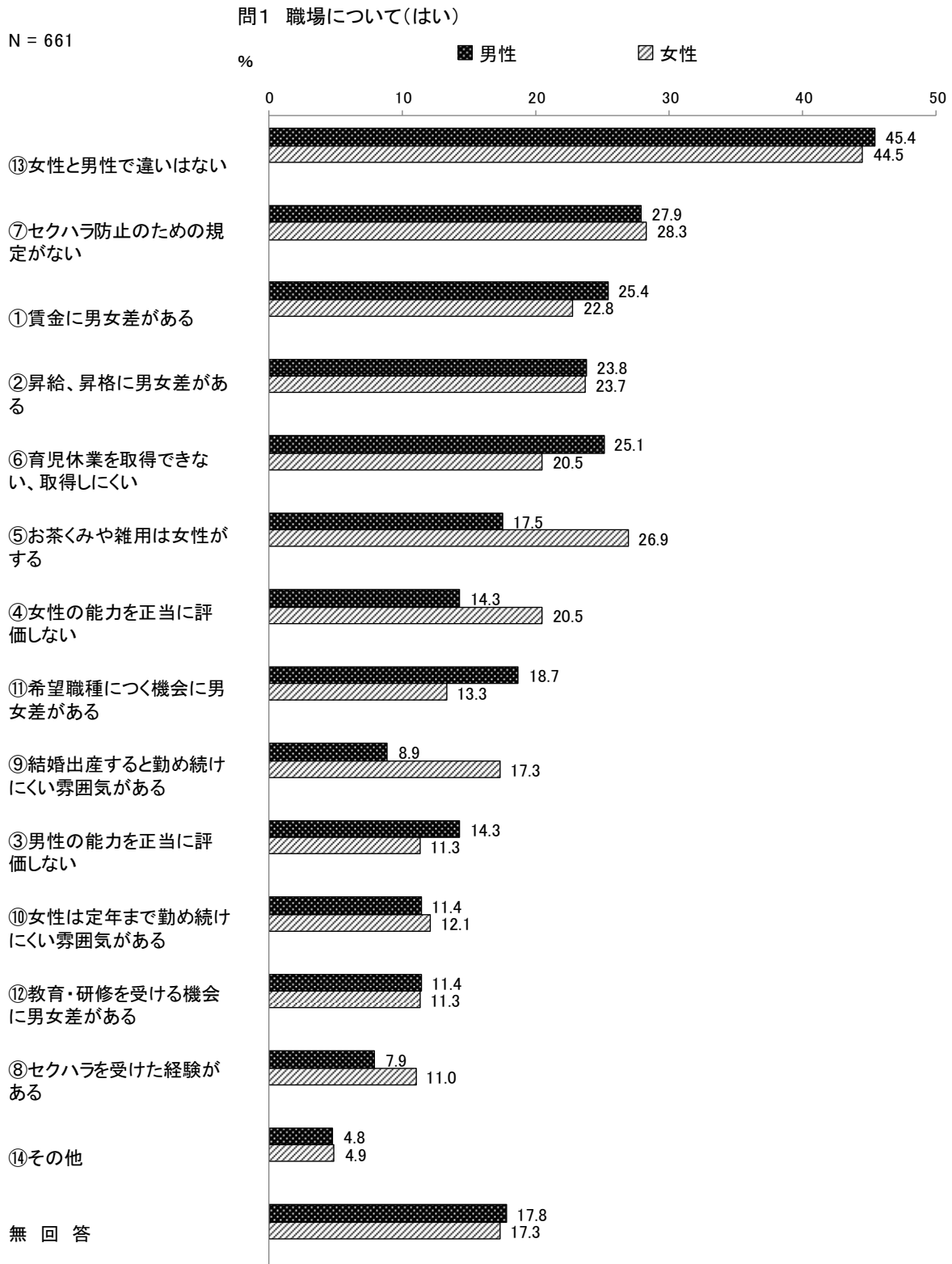
全体では、「⑬女性と男性で違いはない」で、『はい』が44.9%と特に多い。『はい』が20%を超える項目は、「⑦セクハラ防止のための規定がない」(28.1%)、「①賃金に男女差がある」(24.1%)、「②昇給・昇格に男女差がある」(23.8%)、「⑥育児休業を取得できない、取得しにくい」(22.7%)、「⑤お茶くみや雑用は女性がする」(22.4%)となっている。

### <全体>



<性別>

女性が男性を上回るのは、「⑦セクハラ防止のための規定がない」(28.3%)、「⑤お茶くみや雑用は女性がする」(26.9%)、「④女性の能力を正當に評価しない」(20.5%)、「⑨結婚出産すると勤め続けにくい雰囲気がある」(17.3%)、「⑩女性は定年まで勤め続けにくい雰囲気がある」(12.1%)、「⑧セクハラを受けた経験がある」(11.0%) となっている。



## 【詳細分析】

年齢別では、50歳代、60歳以上で「①賃金に男女差がある」が、ともに30%を超えて多く、18～29歳、30歳代で「⑬女性と男性で違いはない」が、ともに50%を超えて多い。

就業状況別では、会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人で「②昇給、昇格に男女差がある」が、30.1%と多い。農林漁業の自営業主または家族従業員で「⑬女性と男性で違いはない」が、23.1%と少ない。自由業では、「⑦セクハラ防止のための規定がない」が38.5%と多い。

(単位：人、%)

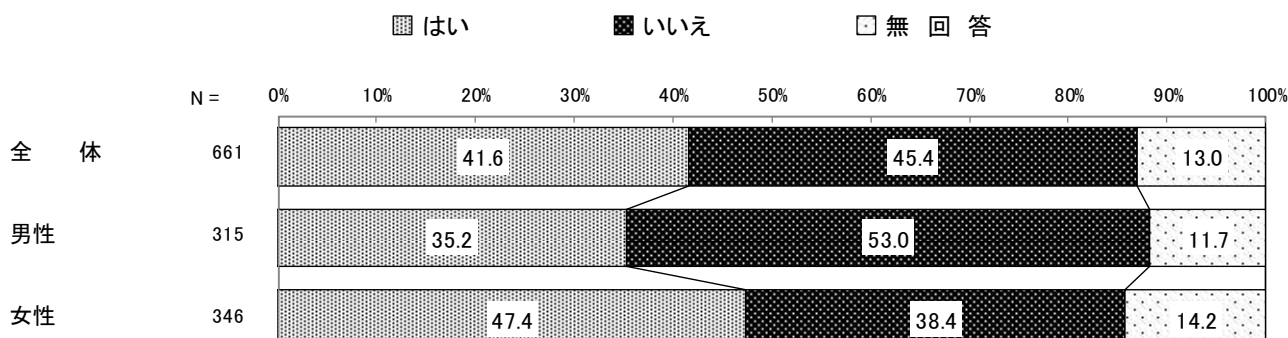
	合計	①賃金に男女差がある	②昇給、昇格に男女差がある	③男性の能力を正当に評価しない	④女性の能力を正当に評価しない	⑤お茶くみや雑用は女性がする	⑥育児休業を取得できない、取得しにくい	⑦セクハラ防止のための規定がない	⑧セクハラを受けた経験がある	⑨結婚出産すると勤め続けにくい雰囲気がある	⑩女性は定年まで勤め続けにくい雰囲気がある	⑪希望職種につく機会に男女差がある	⑫教育・研修を受ける機会に男女差がある	⑬女性と男性で違いはない	
全体	661	24.1	23.8	12.7	17.5	22.4	22.7	28.1	9.5	13.3	11.8	15.9	11.3	44.9	
年齢別	18～29歳	68	10.3	16.2	7.4	19.4	22.1	17.6	23.5	11.8	16.2	14.7	11.8	8.8	52.9
	30歳代	88	12.5	11.4	11.4	31.1	30.7	29.5	30.7	9.1	17.0	8.0	6.8	52.3	
	40歳代	140	19.3	25.7	12.1	29.5	26.4	27.1	28.6	10.0	12.1	15.0	20.7	13.6	43.6
	50歳代	174	30.5	28.7	18.4	44.8	24.1	22.4	31.0	12.6	14.4	11.5	21.3	14.4	42.0
	60歳以上	191	31.9	26.2	10.5	31.9	14.1	18.3	25.7	5.8	10.5	10.5	12.6	9.9	42.4
就業状況	会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人	342	28.1	30.1	15.2	21.1	26.9	24.6	28.9	12.3	13.5	11.4	18.4	13.2	45.3
	パートタイマーやアルバイトの勤め人（学生のアルバイトを除く）	182	22.5	20.3	12.6	17.0	19.2	21.4	25.8	7.1	14.3	13.2	14.8	9.3	48.4
	農林漁業の自営業主または家族従業員	26	23.1	15.4	-	11.5	23.1	11.5	19.2	-	-	-	3.8	7.7	23.1
	商工業などの自営業主または家族従業員	44	6.8	-	-	2.3	9.1	13.6	31.8	-	6.8	4.5	2.3	6.8	38.6
	自由業	26	23.1	23.1	15.4	15.4	23.1	30.8	38.5	7.7	19.2	15.4	11.5	11.5	42.3
	学生	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1	-	-	44.4
その他	25	20.0	20.0	12.0	12.0	12.0	28.0	36.0	24.0	20.0	6.0	28.0	16.0	52.0	

## 問2 あなたの職場には課長職以上の女性が登用されていますか。

全体では、「はい」は41.6%、「いいえ」が45.4%である。

性別では、「はい」は男性が35.2%、女性が47.4%で、女性の方が多い。

問2 課長職以上の女性の登用[%]



### 【詳細分析】

就業状況別では、「はい」は、会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人で49.7%と多く、商工業などの自営業主または家族従業員で、15.9%と少ない。

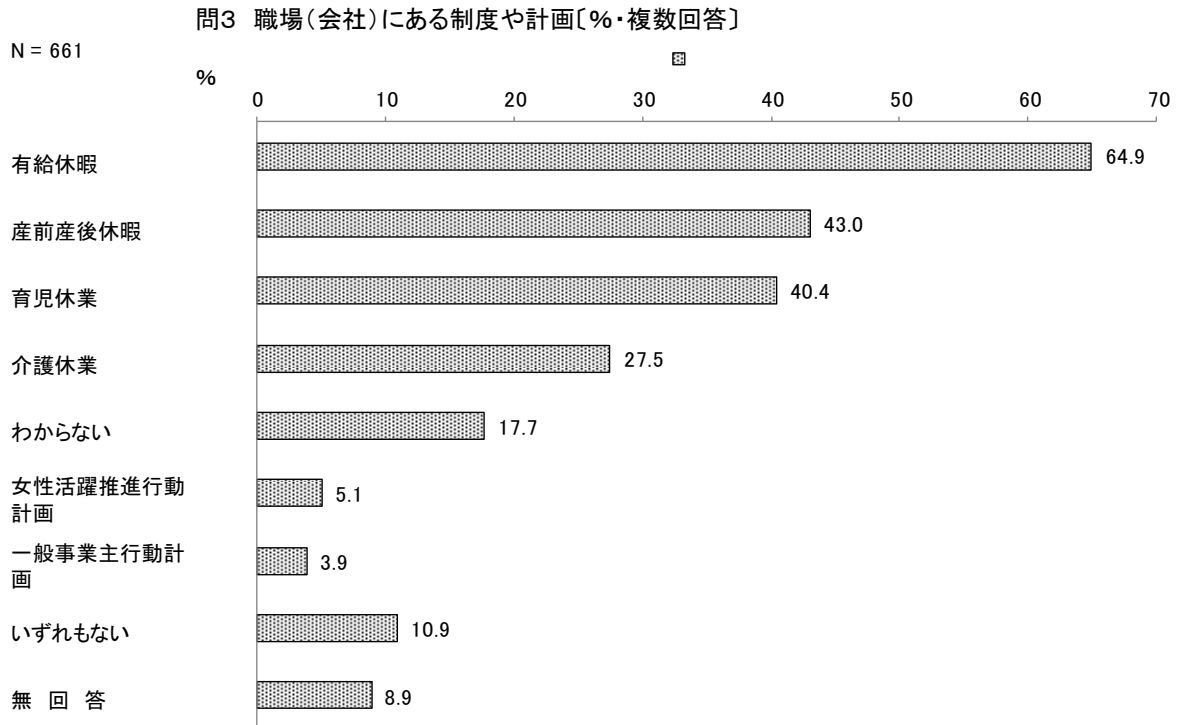
(単位：人、%)

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		661	41.6	45.4	13.0
就業状況	会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人	342	49.7	47.1	3.2
	パートタイマーやアルバイトの勤め人（学生のアルバイトを除く）	182	40.7	46.2	13.2
	農林漁業の自営業主または家族従業員	26	7.7	26.9	65.4
	商工業などの自営業主または家族従業員	44	15.9	59.1	25.0
	自由業	26	19.2	38.5	42.3
	学生	9	33.3	22.2	44.4
	その他	25	48.0	20.0	32.0

### 問3 あなたの職場（会社）に以下の制度や計画はありますか。

全体では、「有給休暇」が64.9%と最も多く、「産前産後休暇」が43.0%、「育児休業」が40.4%と続いている。

<全体>



#### 【詳細分析】

就業状況別では、会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人で「有給休暇」(85.7%)、「産前産後休暇」(60.2%)、「育児休業」(58.2%)、「介護休業」(41.8%)と多い。商工業などの自営業主または家族従業員は「有給休暇」が少なく、「いずれもない」が45.5%と多い。

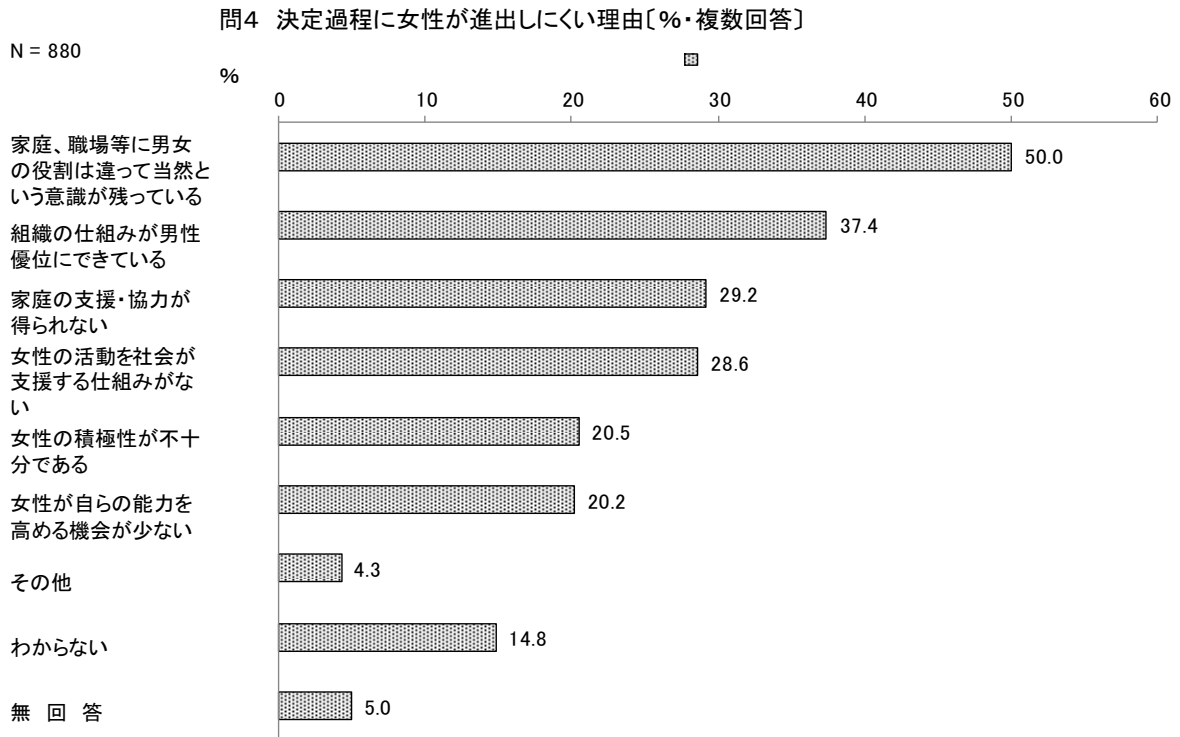
(単位：人、%)

	合計	有給休暇	産前産後休暇	介護休業	育児休業	一般事業主行動計画	女性活躍推進行動計画	わからない	いずれもない	無回答	
全 体	661	64.9	43.0	27.5	40.4	3.9	5.1	17.7	10.9	8.9	
就業状況	会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人	342	85.7	60.2	41.8	58.2	5.3	8.8	10.8	4.7	1.8
	パートタイマーやアルバイトの勤め人（学生のアルバイトを除く）	182	57.1	31.9	15.9	29.7	1.6	1.1	29.1	12.1	6.0
	農林漁業の自営業主または家族従業員	26	11.5	3.8	-	-	3.8	-	15.4	7.7	65.4
	商工業などの自営業主または家族従業員	44	11.4	6.8	2.3	6.8	2.3	-	18.2	45.5	18.2
	自由業	26	19.2	11.5	3.8	7.7	7.7	3.8	26.9	30.8	30.8
	学生	9	33.3	22.2	-	22.2	-	-	22.2	-	44.4
	その他	25	44.0	32.0	20.0	20.0	4.0	4.0	20.0	12.0	20.0

問4 施策や事業の企画、方針決定過程に女性が進出しにくくなっている理由は、何だと思いませんか。

全体では、「家庭、職場等に男女の役割は違って当然という意識が残っている」が50.0%と多く、「組織の仕組みが男性優位にできている」が37.4%、「家庭の支援・協力が得られない」が29.2%、「女性の活動を社会が支援する仕組みがない」が28.6%と続いている。

<全体>





## 【詳細分析】

年齢×性別では、50歳代の女性で「組織の仕組みが男性優位にできている」が52.2%、「女性の活動を社会が支援する仕組みがない」が40.0%と多い。「家庭の支援・協力が得られない」は、18～29歳の女性で46.2%と多く、60歳以上の男性で17.4%と少ない。

(単位：人、%)

	合計	家庭、職場等に男女の役割は違って当然という意識が残っている	組織の仕組みが男性優位にできている	家庭の支援・協力が得られない	女性が自らの能力を高める機会が少ない	女性の活動を社会が支援する仕組みがない	女性の積極性が不十分である	その他	わからない	無回答	
全体	880	50.0	37.4	29.2	20.2	28.6	20.5	4.3	14.8	5.0	
年齢×性別	18～29歳-男性	43	55.8	32.6	20.9	11.6	25.6	11.6	2.3	16.3	4.7
	18～29歳-女性	52	65.4	30.8	46.2	15.4	23.1	21.2	-	13.5	-
	30歳代-男性	46	43.5	34.8	23.9	10.9	28.3	21.7	10.9	15.2	4.3
	30歳代-女性	62	53.2	33.9	40.3	22.6	33.9	16.1	1.6	9.7	1.6
	40歳代-男性	68	47.1	32.4	29.4	22.1	17.6	22.1	8.8	17.6	2.9
	40歳代-女性	96	58.3	42.7	37.5	18.8	33.3	13.5	8.3	10.4	2.1
	50歳代-男性	83	47.0	36.1	27.7	21.7	32.5	30.1	2.4	16.9	3.6
	50歳代-女性	115	59.1	52.2	34.8	27.0	40.0	25.2	-	8.7	5.2
	60歳以上-男性	138	39.9	31.9	17.4	21.0	20.3	23.2	5.1	21.0	8.0
	60歳以上-女性	174	44.3	36.8	25.3	20.1	28.2	17.2	4.0	15.5	8.6

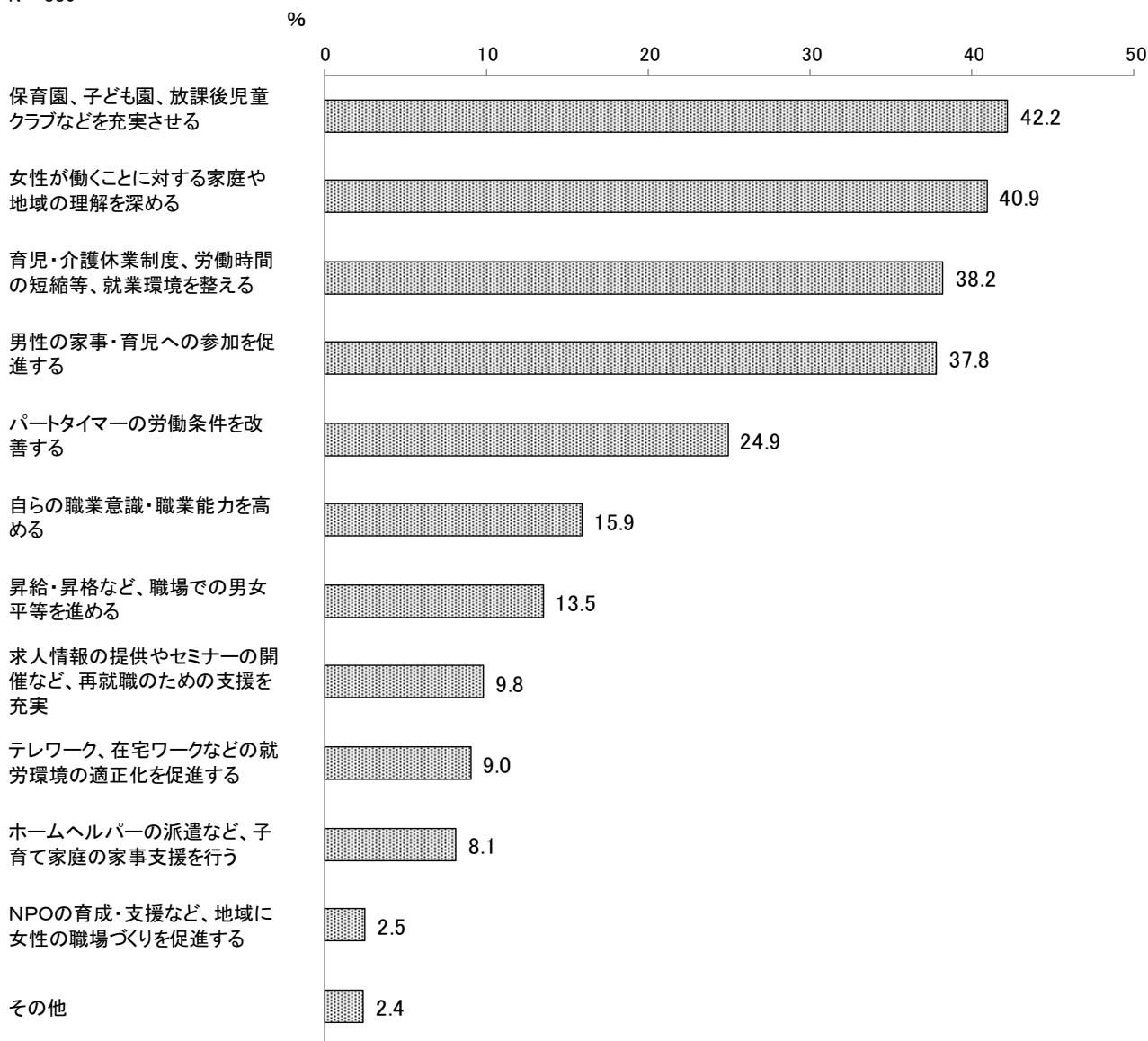
問5 あなたは、男性にとっても女性にとっても働きやすい環境をつくるためには、  
どのようなことが必要だと思いますか。

全体では、「保育園、子ども園、放課後児童クラブなどを充実させる」が42.2%、「女性が働くことに対する家庭や地域の理解を深める」が40.9%、「育児・介護休業制度、労働時間の短縮等、就業環境を整える」が38.2%、「男性の家事・育児への参加を促進する」が37.8%と多い。

<全体>

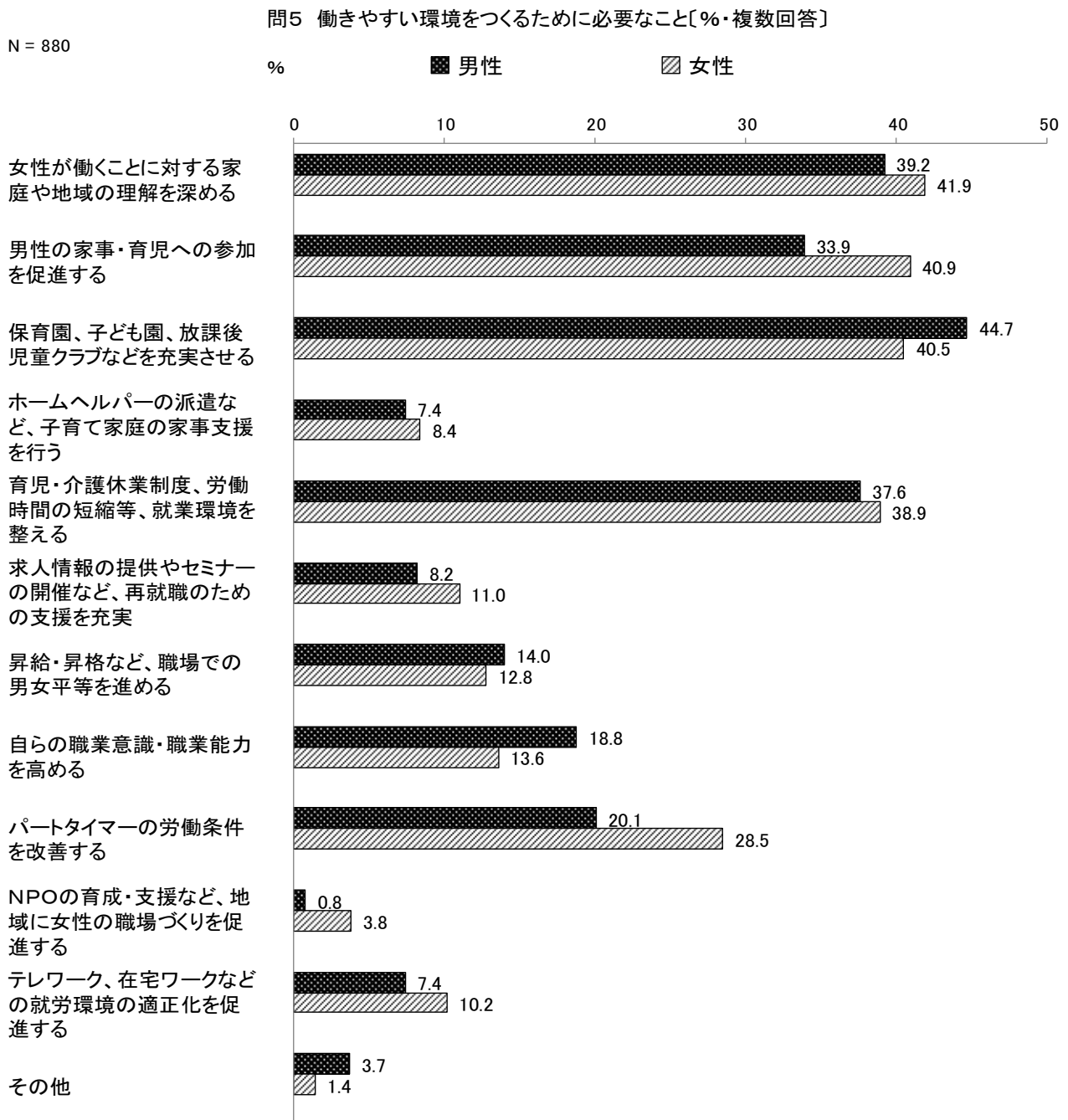
N = 880

問5 働きやすい環境をつくるために必要なこと[%・複数回答]



## <性別>

性別では、男性は「保育園、子ども園、放課後児童クラブなどを充実させる」が44.7%と最も多い。「男性の家事・育児への参加を促進する」（男性33.9%、女性40.9%）と「パートタイマーの労働条件を改善する」（男性20.1%、女性28.5%）で、女性が男性より多い。



【詳細分析】

年齢×性別では、「男性の家事・育児への参加を促進する」が、60歳以上の男性で26.8%と少ない。

就業状況別では、会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人で、「育児・介護休業制度、労働時間の短縮等、就業環境を整える」が45.9%と多く、パートタイマーやアルバイトの勤め人（学生のアルバイトを除く）では、「パートタイマーの労働条件を改善する」が41.8%と多い。「NPOの育成・支援など、地域に女性の職場づくりを促進する」は、学生で22.2%と多い。

(単位：人、%)

	合計	女性が働くことに対する家庭や地域の理解を深める	男性の家事・育児への参加を促進する	保育園、子ども園、放課後児童クラブなどを充実させる	ホームヘルパーの派遣など、子育て家庭の家事支援を行う	育児・介護休業制度、労働時間の短縮等、就業環境を整える	求人情報の提供やセミナーの支援を充実のため	昇給・昇格など、職場での男女平等を進める	自らの職業意識・職業能力を高める	パートタイマーの労働条件を改善する	NPOの育成・支援など、地域に女性の職場づくりを促進する	テレワーク、在宅ワークなどの就業環境の適正化を促進する	その他	特になし	無回答	
全体	880	40.9	37.8	42.2	8.1	38.2	9.8	13.5	15.9	24.9	2.5	9.0	2.4	4.7	2.5	
年齢×性別	18～29歳-男性	43	30.2	39.5	44.2	-	39.5	9.3	18.6	14.0	9.3	-	4.7	9.3	7.0	4.7
	18～29歳-女性	52	44.2	44.2	55.8	7.7	50.0	7.7	19.2	9.6	9.6	3.8	19.2	-	3.8	-
	30歳代-男性	46	34.8	43.5	50.0	2.2	43.5	10.9	8.7	19.6	13.0	-	10.9	2.2	6.5	-
	30歳代-女性	62	45.2	50.0	45.2	8.1	35.5	9.7	12.9	8.1	29.0	3.2	9.7	1.6	3.2	1.6
	40歳代-男性	68	41.2	42.6	41.2	7.4	47.1	4.4	14.7	19.1	23.5	1.5	7.4	4.4	4.4	1.5
	40歳代-女性	96	43.8	44.8	37.5	6.3	42.7	11.5	8.3	7.3	34.4	6.3	13.5	1.0	4.2	1.0
	50歳代-男性	83	41.0	30.1	44.6	12.0	32.5	9.6	9.6	21.7	25.3	1.2	8.4	2.4	6.0	1.2
	50歳代-女性	115	44.3	39.1	40.0	10.4	45.2	12.2	14.8	17.4	29.6	2.6	8.7	0.9	2.6	0.9
	60歳以上-男性	138	41.3	26.8	44.9	8.7	33.3	8.0	16.7	18.1	21.0	0.7	6.5	2.9	8.7	3.6
60歳以上-女性	174	37.4	35.6	36.2	8.6	30.5	11.5	12.1	17.8	29.9	3.4	6.9	2.3	2.3	5.7	
就業状況	会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人	342	40.9	38.0	47.7	7.3	45.9	9.9	12.0	17.3	16.1	1.8	8.8	3.5	5.3	1.2
	パートタイマーやアルバイトの勤め人（学生のアルバイトを除く）	182	43.4	35.2	36.8	5.5	32.4	13.2	13.7	9.9	41.8	1.6	7.1	1.1	5.5	2.7
	農林漁業の自営業主または家族従業員	26	53.8	34.6	26.9	7.7	23.1	3.8	11.5	23.1	11.5	3.8	7.7	-	11.5	3.8
	商工業などの自営業主または家族従業員	44	34.1	47.7	52.3	11.4	25.0	2.3	15.9	18.2	15.9	2.3	6.8	2.3	4.5	2.3
	自由業	26	38.5	34.6	38.5	11.5	23.1	-	19.2	19.2	19.2	7.7	7.7	-	3.8	7.7
	学生	9	33.3	66.7	44.4	-	44.4	-	11.1	11.1	-	22.2	22.2	11.1	-	-
	その他	25	60.0	36.0	48.0	16.0	24.0	4.0	8.0	20.0	20.0	4.0	12.0	4.0	4.0	4.0
していない、または、以前はしていたが、現在はしていない	210	35.2	38.1	39.0	9.5	40.5	11.9	15.2	17.1	29.5	2.9	11.0	1.0	2.4	3.3	

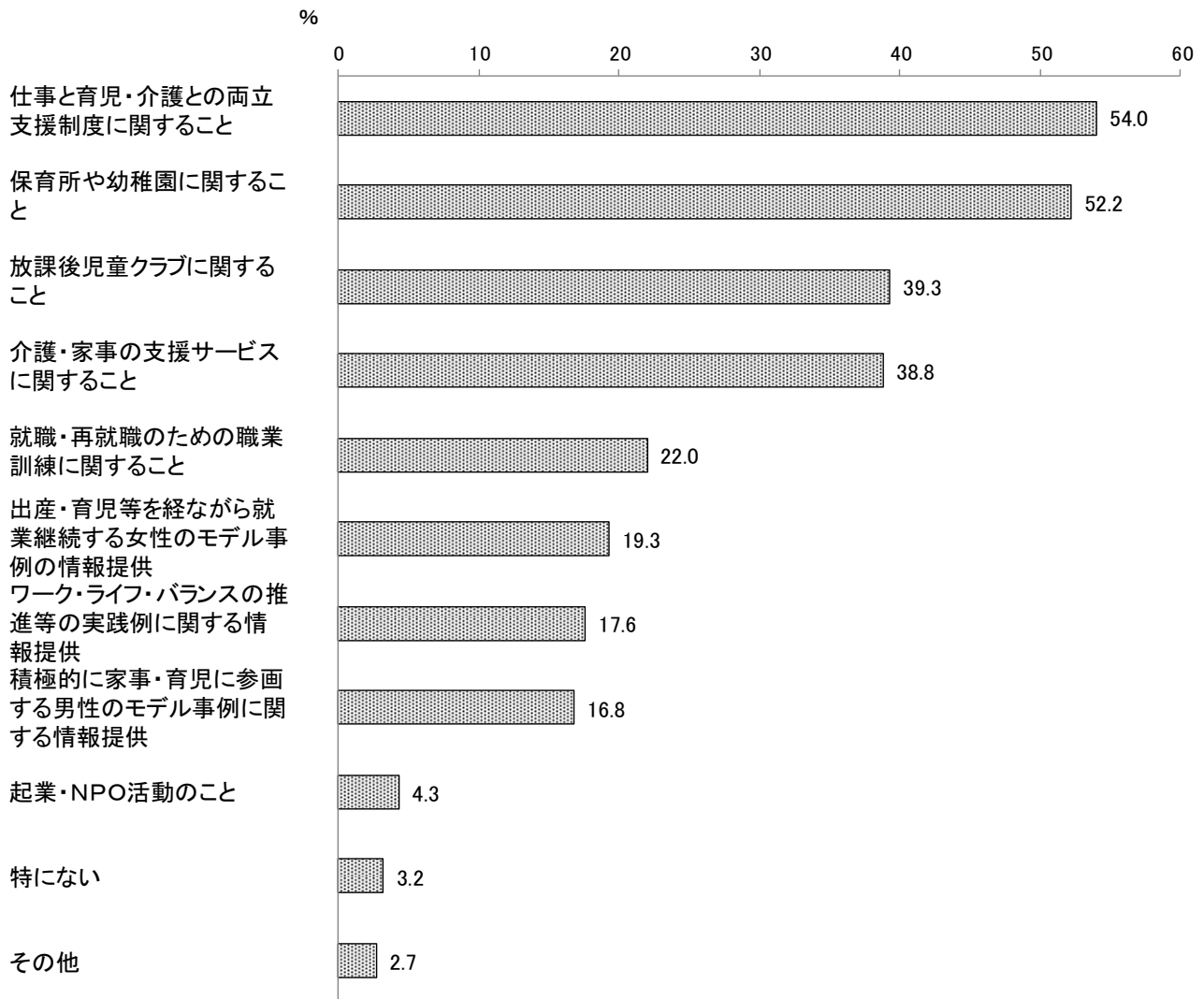
## 問6 あなたは、女性の活躍推進に必要なと思うことはどのようなことですか。

全体では、「仕事と育児・介護との両立支援制度に関すること」が54.0%、「保育所や幼稚園に関すること」が52.2%と、半数を超え多くなっている。

### <全体>

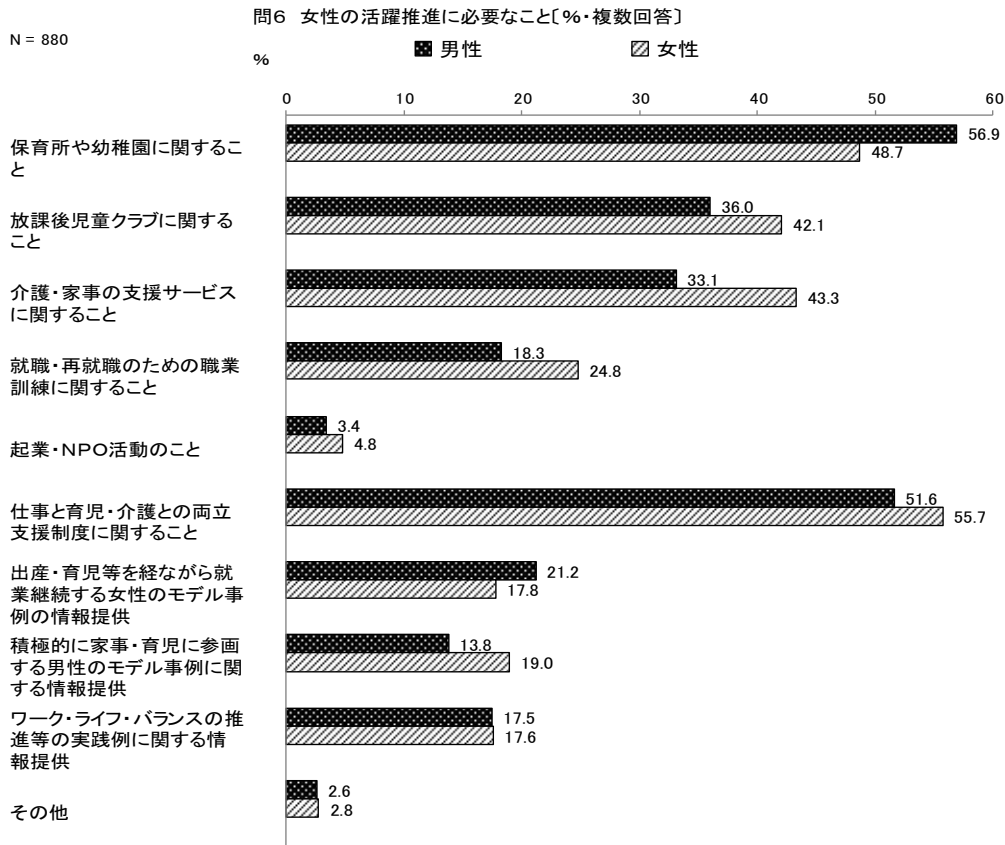
N = 880

問6 女性の活躍推進に必要なこと[%・複数回答]



<性別>

性別では、男性は「保育所や幼稚園に関すること」が56.9%、女性は「仕事と育児・介護との両立支援制度に関すること」が55.7%で最も多い。また、女性は「介護・家事の支援サービスに関すること」が43.3%、「放課後児童クラブに関すること」が42.1%と、いずれも男性より多くなっている。



【詳細分析】

就業状況別では、会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人で「保育所や幼稚園に関すること」が57.0%とやや多く、商工業などの自営業主または家族従業員で「放課後児童クラブに関すること」が50.0%と多い。

(単位：人、%)

	合計	保育所や幼稚園に関すること	放課後児童クラブ	介護・家事に係る支援	就職・再就職に関すること	起業・NPO活動	仕事と育児・介護との両立支援	女性の就業継続に関する情報提供	男性の参画に関する情報提供	ワーク・ライフ・バランスの推進等の実践例に関する情報提供	その他	特になし	わからない	無回答	
全体	880	52.2	39.3	38.8	22.0	4.3	54.0	19.3	16.8	17.6	2.7	3.2	8.1	3.3	
就業状況	会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人	342	57.0	39.5	38.9	19.3	4.4	54.1	20.5	18.7	19.9	3.2	2.6	7.0	2.3
	パートタイマーやアルバイトの勤め人（学生のアルバイトを除く）	182	51.6	42.3	41.8	24.7	3.8	55.5	20.3	12.1	17.0	1.1	3.8	9.3	3.3
	農林漁業の自営業主または家族従業員	26	30.8	38.5	38.5	19.2	3.8	50.0	11.5	15.4	19.2	-	3.8	15.4	7.7
	商工業などの自営業主または家族従業員	44	45.5	50.0	29.5	15.9	9.1	45.5	18.2	15.9	6.8	2.3	4.5	9.1	2.3
	自由業	26	38.5	30.8	34.6	15.4	7.7	46.2	19.2	7.7	15.4	7.7	15.4	7.7	11.5
	学生	9	44.4	22.2	33.3	22.2	-	55.6	33.3	22.2	22.2	11.1	-	-	-
	その他	25	64.0	48.0	52.0	12.0	-	68.0	12.0	24.0	28.0	4.0	-	4.0	4.0
	していない、または、以前はしていたが、現在はしていない	210	51.0	37.1	38.6	28.6	3.8	54.3	18.6	18.6	15.2	2.4	1.4	8.6	2.4

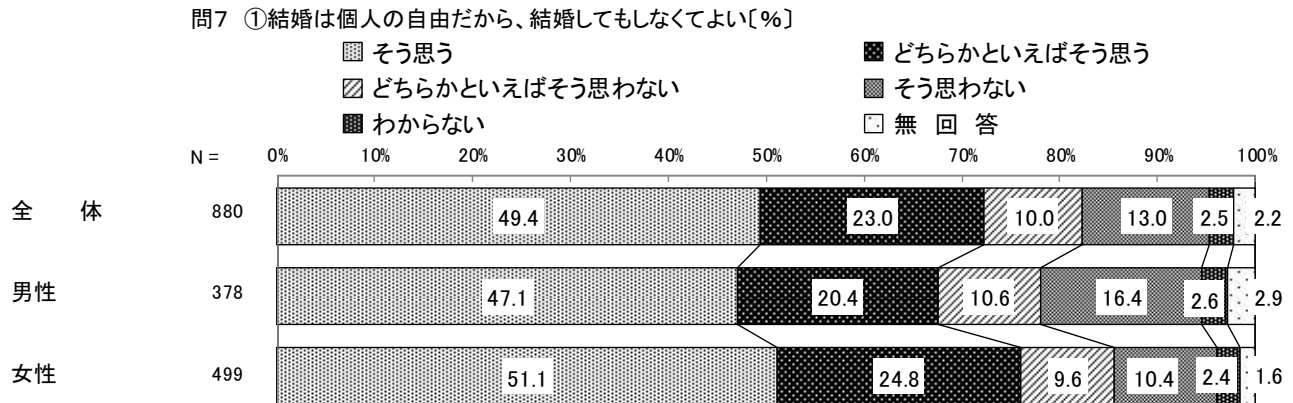
## 2-3 家庭生活に関する意識について

問7 結婚・家庭・離婚に関する次の①～④のような考え方についてどう思いますか。

### ① 結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい

全体では、『結婚してもしなくてもよい』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）が72.4%と多くなっている。

性別では、『結婚してもしなくてもよい』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）が男性は67.5%、女性は75.9%で女性の方が多い。



### 【詳細分析】

年齢別では、『結婚してもしなくてもよい』は30歳代では92.5%と多く、18歳～29歳で87.4%、40歳代で81.8%と続いている。50歳代で68.2%、60歳以上では58.3%と年齢が上がると少なくなっている。

(単位: %)

	そう思う	えど ばち そう か 思 う い	えど ばち な い う か 思 わ い	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	49.4	23.0	10.0	13.0	2.5	2.2
18歳～29歳	65.3	22.1	4.2	6.3	-	2.1
30歳代	73.1	19.4	4.6	0.9	0.9	0.9
40歳代	59.8	22.0	7.3	6.1	4.9	-
50歳代	41.4	26.8	11.1	16.7	2.0	2.0
60歳以上	35.9	22.4	14.4	20.5	2.9	3.8

<県調査との比較>

前回調査との比較では、「そう思う」が増えている。

県調査との比較では、「そう思う」が下回っており、「そう思わない」が上回っている。

(単位:%)

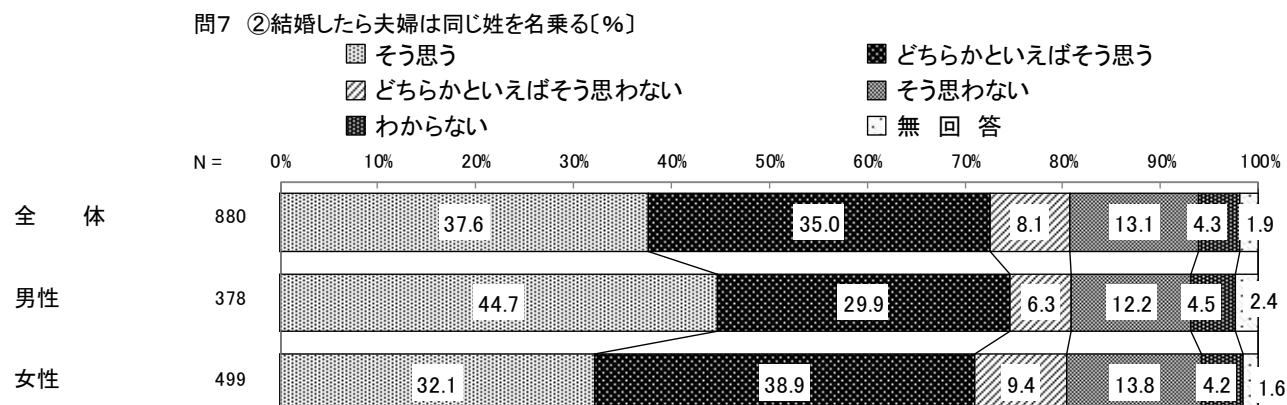
		そう 思う	え ど ち ら か と い	そ う 思 わ な い	え ど ち ら か と い な い	わ か ら な い	無 回 答
今 回 調 査	全体	49.4	23.0	13.0	10.0	2.5	2.2
	男性	47.1	20.4	16.4	10.6	2.6	2.9
	女性	51.1	24.8	10.4	9.6	2.4	1.6
前 回 調 査	全体	35.2	21.0	9.4	20.0	8.4	6.0
	男性	32.2	18.5	13.4	19.5	9.2	7.2
	女性	37.5	23.2	6.2	20.2	7.7	5.2
県 調 査	全体	58.1	28.6	1.1	7.9	2.7	1.6
	男性	58.3	28.8	2.3	7.5	2.0	1.3
	女性	58.0	28.8	0.3	8.4	3.1	1.4



## ② 結婚したら夫婦は同じ姓を名乗る

全体では、『同じ姓を名乗る』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）が72.6%と多くなっている。

性別では、『同じ姓を名乗る』が男性は74.6%、女性は71.0%と差異は小さいが、「そう思う」では、男性44.7%に対し、女性32.1%と少ない。



### 【詳細分析】

年齢別では、『同じ姓を名乗る』は、18歳～29歳が65.3%で最も少なく、年齢が上がると多くなり、60歳以上は77.0%である。

(単位:%)

	そう思う	えど ばち そら か 思 う い	えど ばち な い そ ら か 思 わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	37.6	35.0	8.1	13.1	4.3	1.9
18歳～29歳	29.5	35.8	13.7	13.7	5.3	2.1
30歳代	29.6	37.0	7.4	18.5	6.5	0.9
40歳代	28.7	42.1	7.9	15.9	5.5	-
50歳代	36.9	36.9	9.6	11.6	3.5	1.5
60歳以上	47.8	29.2	5.8	10.6	3.2	3.5

### <県調査との比較>

県調査との比較では、『同じ姓を名乗る』が、本市（72.6%）は県（43.5%）を大きく上回っている。

(単位:%)

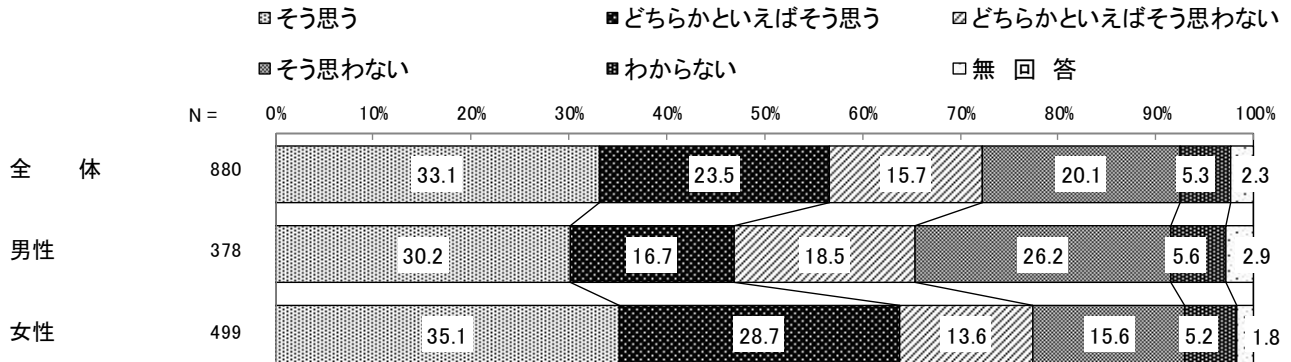
		そう思う	えど ばち そら か 思 う い	そ う 思 わ な い	えど ばち な い そ ら か 思 わ い	わ か ら な い	無 回 答
今 回 調 査	全体	37.6	35.0	13.1	8.1	4.3	1.9
	男性	44.7	29.9	12.2	6.3	4.5	2.4
	女性	32.1	38.9	13.8	9.4	4.2	1.6
県 調 査	全体	18.7	24.8	20.3	19.2	14.7	2.2
	男性	15.5	24.0	25.3	20.3	13.3	1.8
	女性	20.9	25.6	17.5	18.9	15.3	1.9

### ③ 結婚しても子どもを持つことにこだわらなくてよい

全体では、『子どもを持つことにこだわらなくてよい』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）が56.6%、『子どもを持つことにこだわらなくてよいとは思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の計）は35.8%である。

性別では、『子どもを持つことにこだわらなくてよい』が、男性は46.9%と少なく、女性は63.8%と多い。

問7 ③結婚しても子どもを持つことにこだわらなくてよい[%]



#### 【詳細分析】

年齢別では、『子どもを持つことにこだわらなくてよい』は18歳～29歳が71.6%、30歳代が75.0%と多く、年齢が上がるにつれて少なくなり、60歳以上では43.6%である。

婚姻状況別では、「そう思う」は未婚で43.6%と多い。

(単位：人、%)

		合計	そう思う	えど ば ち ら か そ う 思 う い	えど ば ち ら か 思 わ ない い	そう 思 わ ない	わ か ら ない	無 回 答
全	体	880	33.1	23.5	15.7	20.1	5.3	2.3
年 齢 別	18～29歳	95	49.5	22.1	12.6	10.5	3.2	2.1
	30歳代	108	46.3	28.7	9.3	10.2	4.6	0.9
	40歳代	164	38.4	28.7	10.4	14.0	8.5	-
	50歳代	198	27.8	22.7	22.2	23.2	2.5	1.5
	60歳以上	312	23.7	19.9	17.6	27.9	6.4	4.5
婚 姻 状 況	未婚	179	43.6	21.8	10.1	16.2	4.5	3.9
	既婚（配偶者がいる）	611	29.8	23.7	16.9	21.6	6.2	1.8
	離別、死別	85	34.1	24.7	18.8	18.8	1.2	2.4

<前回調査・県調査との比較>

前回調査との比較では、『子どもを持つことにこだわらなくてよい』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）が増えている。

県調査との比較では、「そう思わない」が本市（20.1％）は県（6.6％）を上回っている。

（単位：％）

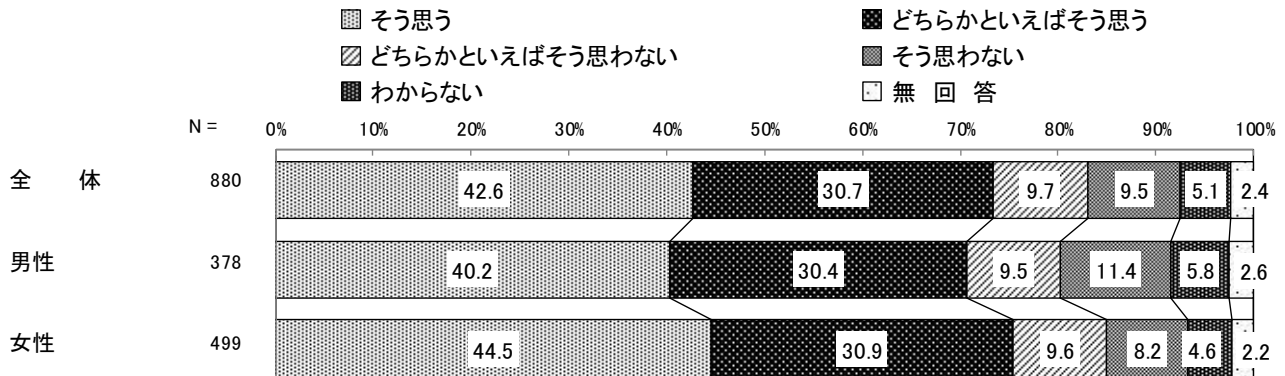
		そう 思う	え ど ち ら か と い う	そ う 思 わ な い	え ど ち ら か と い わ な い	わ か ら な い	無 回 答
今 回 調 査	全体	33.1	23.5	20.1	15.7	5.3	2.3
	男性	30.2	16.7	26.2	18.5	5.6	2.9
	女性	35.1	28.7	15.6	13.6	5.2	1.8
前 回 調 査	全体	14.9	14.5	21.6	26.7	15.5	6.8
	男性	11.6	13.0	27.1	26.4	14.4	7.5
	女性	17.3	15.6	17.5	26.9	16.5	6.2
県 調 査	全体	34.6	27.7	6.6	22.3	6.8	2.0
	男性	32.8	27.5	7.5	24.5	6.5	1.3
	女性	35.8	28.3	6.0	20.9	6.9	2.1

④ 結婚してもうまくいかなければ離婚してもよい

全体では、『離婚してもよい』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）が73.3%と多くなっている。

性別では、『離婚してもよい』が男性は70.6%、女性は75.4%と女性がやや多くなっている。

問7 ④結婚してもうまくいかなければ離婚してもよい[%]



【詳細分析】

年齢別では、『離婚してもよい』は60歳以上が67.9%、18歳～29歳が70.6%と他の年齢よりやや少なくなっている。

婚姻状況別では、未婚で『離婚してもよいと思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の計）がやや少ない。

(単位：人、%)

		合計	そう思う	えど ばち そら そう か 思 と う い	えど ばち な い そ ら か 思 と わ い	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全	体	880	42.6	30.7	9.7	9.5	5.1	2.4
年 齢 別	18～29歳	95	45.3	25.3	9.5	11.6	6.3	2.1
	30歳代	108	46.3	31.5	12.0	6.5	2.8	0.9
	40歳代	164	48.2	28.0	9.1	7.9	6.1	0.6
	50歳代	198	41.9	36.4	7.1	8.6	5.1	1.0
	60歳以上	312	38.1	29.8	10.6	11.5	5.1	4.8
婚 姻 状 況	未婚	179	48.0	25.1	5.0	11.2	7.3	3.4
	既婚（配偶者がいる）	611	40.8	32.6	10.6	9.3	4.7	2.0
	離別、死別	85	45.9	27.1	11.8	8.2	3.5	3.5

### <前回調査・県調査との比較>

前回調査との比較では、前回と今回ともに『離婚してもよい』が『離婚してもよいと思わない』を上回っており、『離婚してもよい』が前回より30%強増えている。

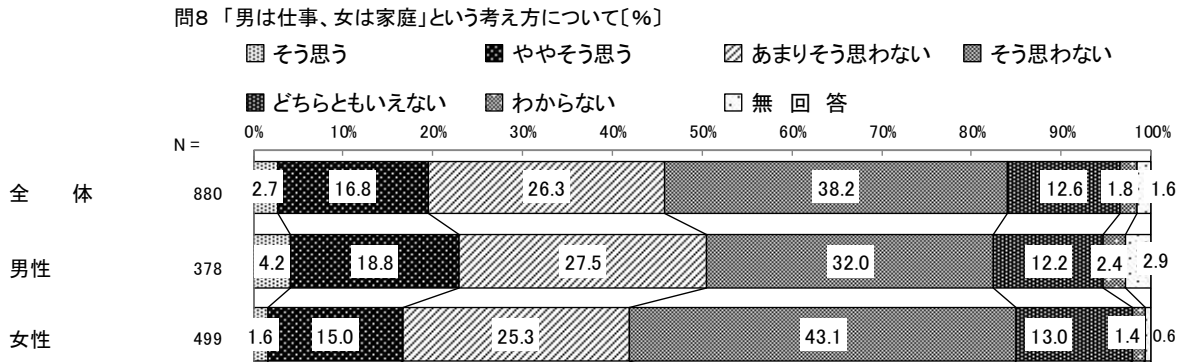
県調査との比較では、県と本市ともに『離婚してもよい』が『離婚してもよいと思わない』を上回っている。

(単位:%)

		そう思う	えど ばち ら か と う い	そう 思 わ な い	えど ば ち ら か と う い な い	わ か ら な い	無 回 答
今 回 調 査	全体	42.6	30.7	9.7	9.5	5.1	2.4
	男性	40.2	30.4	9.5	11.4	5.8	2.6
	女性	44.5	30.9	9.6	8.2	4.6	2.2
前 回 調 査	全体	16.2	22.4	11.4	23.6	19.3	7.1
	男性	15.8	22.3	14.7	23.6	15.8	8.6
	女性	16.8	22.7	8.9	24.0	22.2	5.4
県 調 査	全体	32.9	34.0	5.6	18.6	6.7	2.2
	男性	30.8	34.5	7.8	18.0	7.3	1.8
	女性	34.5	34.1	3.9	19.0	6.5	1.9

## 問8 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。

全体では、『そうは思わない』（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の計）が64.5%と多く、『そう思う』（「そう思う」と「ややそう思う」の計）は19.5%である。性別では、『そうは思わない』は男性が59.5%、女性は68.4%で、女性の方が多い。『そう思う』は男性が23.0%、女性が16.6%で、男性の方が多い。



### 【詳細分析】

年齢別では、『そうは思わない』は18歳～29歳が70.5%と最も多い。

婚姻状況別では、離別、死別で「そう思わない」が45.9%とやや多い。

(単位：人、%)

	合計	そう 思 う	う や や さ う 思 う	わ そ あ な う ま い 思 り	わ そ な う い 思	え と ど な も ち い ら	わ か ら な い	無 回 答	
全 体	880	2.7	16.8	26.3	38.2	12.6	1.8	1.6	
年 齢 別	18～29歳	95	1.1	11.6	36.8	33.7	10.5	2.1	4.2
	30歳代	108	0.9	21.3	26.9	37.0	12.0	1.9	-
	40歳代	164	4.9	17.1	27.4	35.4	12.2	2.4	0.6
	50歳代	198	3.6	13.1	27.8	38.9	12.6	2.0	2.0
	60歳以上	312	2.2	18.6	21.2	41.3	13.8	1.3	1.6
婚 姻 状 況	未婚	179	2.8	11.7	31.8	30.7	16.8	2.2	3.9
	既婚（配偶者がいる）	611	2.3	18.3	25.5	39.6	11.5	1.6	1.1
	離別、死別	85	5.9	15.3	17.6	45.9	12.9	2.4	-

### <前回調査・国調査との比較>

前回調査との比較では、『そう思う』が低く、『そうは思わない』が高い傾向にある。

国調査との比較では、『そう思う』が本市（19.5%）は国（40.5%）より低い傾向にある。

(単位：%)

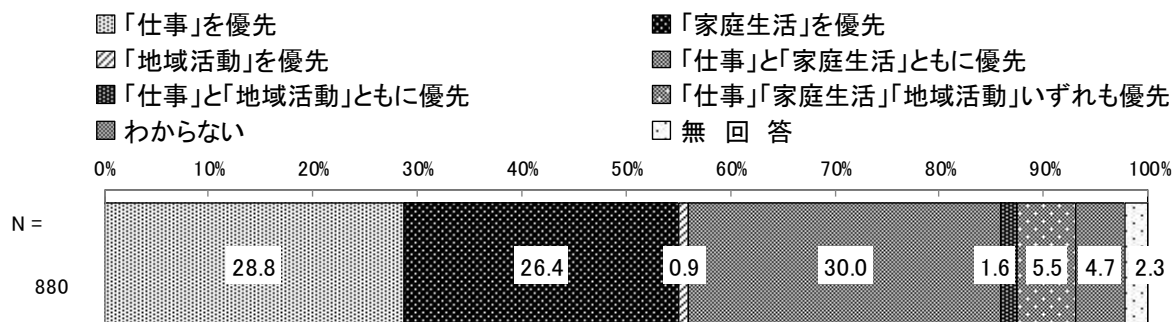
	そう 思 う	や や さ う 思 う	さ う 思 わ な い	あ ま り さ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い	無 回 答	
今 回 調 査	全体	2.7	16.8	38.2	26.3	12.6	1.8	1.6
	男性	4.2	18.8	32.0	27.5	12.2	2.4	2.9
	女性	1.6	15.0	43.1	25.3	13.0	1.4	0.6
前 回 調 査	全体	7.1	25.4	26.0	25.1	-	9.5	6.8
	男性	9.2	29.1	22.6	20.2	-	11.0	7.9
	女性	5.7	22.5	28.9	28.6	-	8.6	5.7
国 調 査	全体	8.8	31.7	19.5	34.8	-	5.1	0.1
	男性	8.3	28.7	21.5	37.0	-	4.5	0.0
	女性	9.4	35.3	17.2	32.2	-	5.8	0.1

問9 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域活動」の優先度について、①あなたの現実（現状）に最も近いものと、②あなたの希望をそれぞれお答えください。

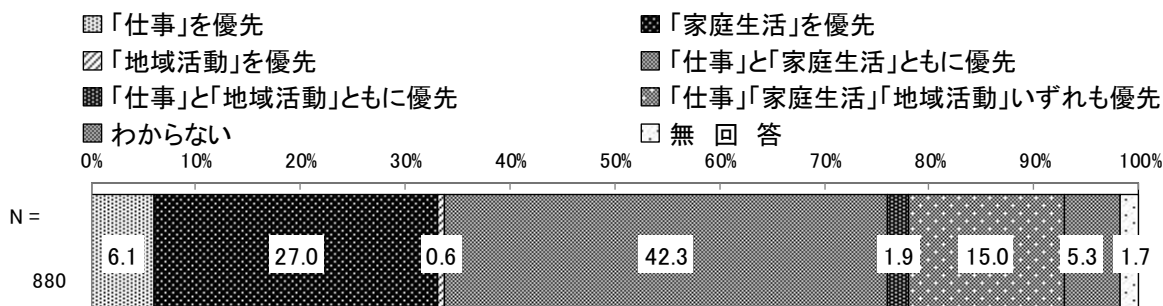
『「仕事」と「家庭生活」ともに優先』が、【希望】（42.3%）と【現実】（30.0%）ともに多く、次いで【現実】では『「仕事」を優先』が28.8%、【希望】では『「家庭生活」を優先』が27.0%で続いている。

<全体>

問9 家庭生活の優先度 ①あなたの現実(現状) [%]



問9 家庭生活の優先度 ②あなたの希望 [%]



(単位: %)

順位	【現実】	【希望】
1	「仕事」と「家庭生活」ともに優先 30.0	「仕事」と「家庭生活」ともに優先 42.3
2	「仕事」を優先 28.8	「家庭生活」を優先 27.0
3	「家庭生活」を優先 26.4	「仕事」「家庭生活」「地域活動」いずれも優先 15.0
4	「仕事」「家庭生活」「地域活動」いずれも優先 5.5	「仕事」を優先 6.1
5	わからない 4.7	わからない 5.3

【現実】

『「仕事」と「家庭生活」ともに優先』が30.0%と多く、『「仕事」を優先』が28.8%、『「家庭生活」を優先』が26.4%と続いている。

【希望】

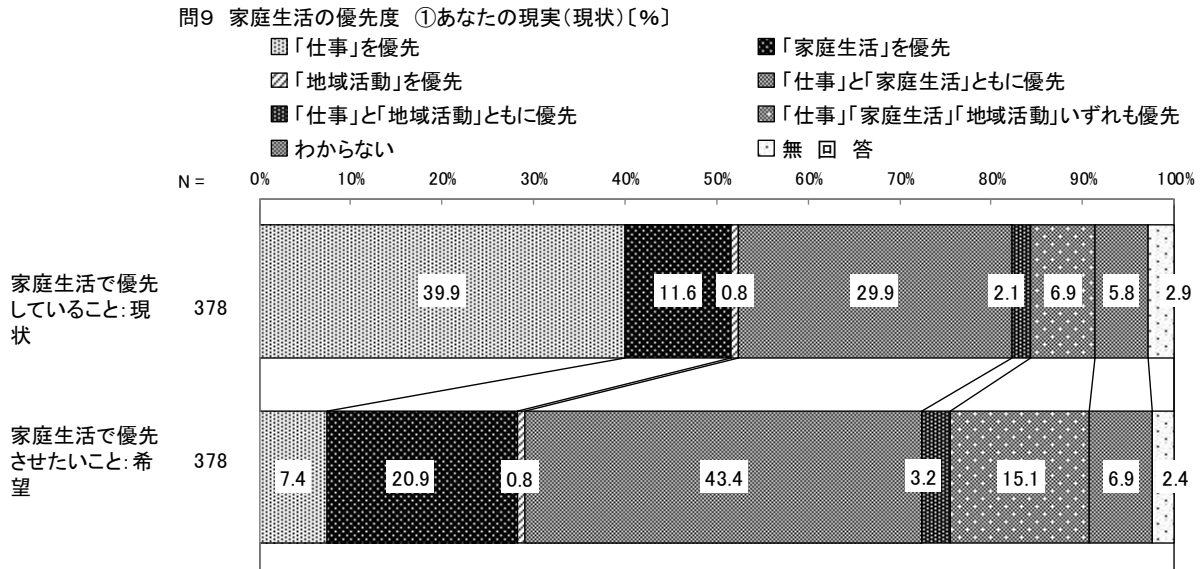
『「仕事」と「家庭生活」ともに優先』が42.3%と最も多く、次いで『「家庭生活」を優先』が27.0%である。

<性別>

男性の【希望】は、『「仕事」と「家庭生活」ともに優先』（43.4%）が最も多いが、【現実】では『「仕事」を優先』（39.9%）が上回っている。

女性の【希望】は『「仕事」と「家庭生活」ともに優先』（41.5%）が最も多いが、【現実】では、『「家庭生活」を優先』（37.7%）が上回っている。

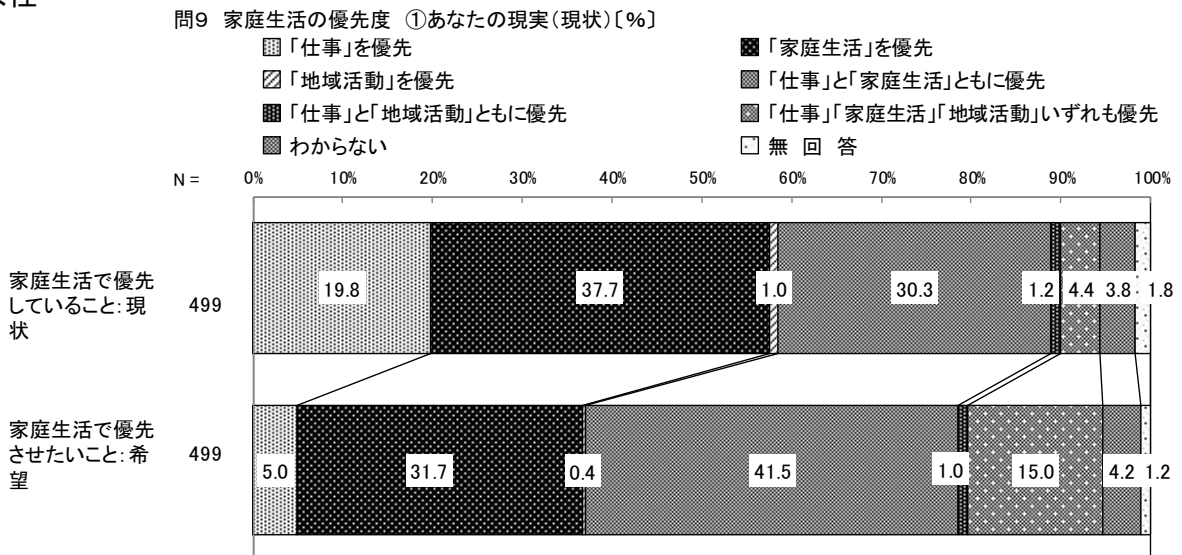
男性



(単位: %)

順位	【現実】	【希望】
1	「仕事」を優先 39.9	「仕事」と「家庭生活」ともに優先 43.4
2	「仕事」と「家庭生活」ともに優先 29.9	「家庭生活」を優先 20.9
3	「家庭生活」を優先 11.6	「仕事」「家庭生活」「地域活動」いずれも優先 15.1
4	「仕事」「家庭生活」「地域活動」いずれも優先 6.9	「仕事」を優先 7.4
5	わからない 5.8	わからない 6.9

女性





(単位:%)

順位	【現実】	【希望】
1	「家庭生活」を優先 37.7	「仕事」と「家庭生活」ともに優先 41.5
2	「仕事」と「家庭生活」ともに優先 30.3	「家庭生活」を優先 31.7
3	「仕事」を優先 19.8	「仕事」「家庭生活」「地域活動」いずれも優先 15.0
4	「仕事」「家庭生活」「地域活動」いずれも優先 4.4	「仕事」を優先 5.0
5	わからない 3.8	わからない 4.2

## 【詳細分析】

男性の回答状況をみると、小学生以下の子どもがいる男性の【希望】は、『「仕事」と「家庭生活」ともに優先』が60%台と多いが、【現実】では、『「仕事」を優先』と同程度で40%台となっている。

介護や支援を必要とする家族のいる男性の【希望】は、『「家庭生活」を優先』が30.4%と多いが、現状は21.5%である。【現実】では、『「仕事」を優先』は介護や支援を必要とする家族のいない人(41.4%)が介護者のいる人(34.2%)を上回っている。一方、【希望】では、『「仕事」を優先』は介護や支援を必要とする家族のいる人(11.4%)が介護や支援を必要とする家族のいない人(6.1%)を上回っている。

男性の就業状況別では、【現実】では、『「仕事」を優先』が会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人(49.1%)と商工業などの自営業主または家族従業員(50.0%)が多いが、【希望】では、それぞれ4.6%、12.5%と少なくなり、『「仕事」と「家庭生活」ともに優先』、『「家庭生活」を優先』が増加している。

現実-男性

(単位:人、%)

		合計	「仕事」と「家庭生活」ともに優先	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「仕事」「家庭生活」「地域活動」いずれも優先	「仕事」と「地域活動」ともに優先	「地域活動」を優先	わからない	無回答
全 体		880	30.0	28.8	26.4	5.5	1.6	0.9	4.7	2.3
子 ど も の 有 無	小学校入学前の子どもがいる	35	42.9	42.9	5.7	-	2.9	-	2.9	2.9
	小学生の子どもがいる	40	42.5	42.5	5.0	5.0	2.5	-	2.5	-
	中学生以上18歳未満の子どもがいる	45	33.3	44.4	6.7	11.1	2.2	-	2.2	-
	18歳以上の子どもがいる	181	34.8	33.1	14.4	8.3	3.3	1.1	2.8	2.2
	いない	111	17.1	49.5	10.8	3.6	0.9	0.9	13.5	3.6
要 介 護 や 支 援 を 必 要 と す る 家 族 の 有 無	いる	79	25.3	34.2	21.5	5.1	5.1	-	3.8	5.1
	いない	295	31.2	41.4	9.2	7.5	1.4	1.0	6.4	2.0
就 業 状 況	会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人	216	32.4	49.1	5.6	6.9	1.4	-	-	-
	パートタイマーやアルバイトの勤め人(学生のアルバイトを除く)	27	44.4	18.5	14.8	7.4	7.4	3.7	3.7	-
	農林漁業の自営業主または家族従業員	13	30.8	15.4	23.1	7.7	23.1	-	-	-
	商工業などの自営業主または家族従業員	24	37.5	50.0	4.2	8.3	-	-	-	-
	自由業	17	29.4	41.2	5.9	5.9	-	-	5.9	11.8
	学生	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-
	その他	12	16.7	50.0	-	8.3	-	8.3	8.3	8.3

		合計	「仕事」と「家庭生活」を優先	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「仕事」「家庭生活」「地域活動」いずれも優先	「仕事」と「地域活動」を優先	「地域活動」を優先	わからない	無回答
全 体		880	42.3	6.1	27.0	15.0	1.9	0.6	5.3	1.7
子 有 無 の	小学校入学前の子どもがいる	35	60.0	8.6	25.7	2.9	-	-	-	2.9
	小学生の子どもがいる	40	67.5	12.5	12.5	2.5	2.5	-	2.5	-
	中学生以上18歳未満の子どもがいる	45	46.7	8.9	20.0	20.0	2.2	-	2.2	-
	18歳以上の子どもがいる	181	43.1	6.6	22.7	17.1	3.9	1.1	3.3	2.2
	いない	111	36.9	9.0	18.0	13.5	3.6	0.9	16.2	1.8
要 介 護 や 支 援 を 必 要 と す る 家 族 の 有 無	いる	79	36.7	11.4	30.4	12.7	-	1.3	5.1	2.5
	いない	295	45.1	6.1	18.6	15.9	4.1	0.7	7.5	2.0
就 業 状 況	会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人	216	46.3	4.6	21.3	17.1	3.2	-	5.6	1.9
	パートタイマーやアルバイトの勤め人（学生のアルバイトを除く）	27	40.7	11.1	22.2	11.1	7.4	3.7	3.7	-
	農林漁業の自営業主または家族従業員	13	46.2	-	30.8	7.7	7.7	-	7.7	-
	商工業などの自営業主または家族従業員	24	54.2	12.5	12.5	16.7	-	-	4.2	-
	自由業	17	35.3	29.4	5.9	11.8	-	-	5.9	11.8
	学生	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-
	その他	13	46.2	-	46.2	7.7	-	-	-	-

女性の回答状況をみると、子どものいる女性の【現実】では、『「仕事」と「家庭生活」ともに優先』が『「仕事」を優先』を上回っている一方で、子どものいない女性は『「仕事」を優先』(37.4%)が『「仕事」と「家庭生活」ともに優先』を上回っている。【希望】では、子どもの有無に関わらず、『「仕事」と「家庭生活」ともに優先』が最も多い。

介護や支援を必要とする家族のいる女性の【現実】は、『「家庭生活」を優先』が介護や支援を必要とする家族のいる女性(33.9%)と介護や支援を必要とする家族のいない女性(38.8%)ともに最も多いが、【希望】では、割合が下がり、『「仕事」と「家庭生活」ともに優先』が、介護者の有無に関わらず最も多い。

女性の就業状況別の【現実】では、『「仕事」と「家庭生活」ともに優先』『「仕事」を優先』は会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人(40%台)と農林漁業の自営業主または家族従業員(20%台)で同程度の割合である。パートタイマーやアルバイトの勤め人(学生のアルバイトを除く)で、『「仕事」と「家庭生活」ともに優先』『「家庭生活」を優先』が同程度の割合となっている。【希望】では、『「仕事」「家庭生活」「地域活動」いずれも優先』がその他以外で【現実】と比べて増えている。

現実-女性

(単位：人、%)

	合計	「仕事」と「家庭生活」ともに優先	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「仕事」「家庭生活」「地域活動」いずれも優先	「仕事」と「地域活動」ともに優先	「地域活動」を優先	わからない	無回答
全体	880	30.0	28.8	26.4	5.5	1.6	0.9	4.7	2.3
子どもの有無	小学校入学前の子どもがいる	52	30.8	3.8	63.5	1.9	-	-	-
	小学生の子どもがいる	47	23.4	10.6	57.4	8.5	-	-	-
	中学生以上18歳未満の子どもがいる	56	39.3	10.7	44.6	3.6	-	1.8	-
	18歳以上の子どもがいる	266	32.0	16.2	41.0	4.9	1.5	1.1	1.5
	いない	123	26.0	37.4	16.3	3.3	0.8	1.6	11.4
要介護や支援を必要とする家族の有無	いる	118	29.7	22.9	33.9	4.2	0.8	2.5	3.4
	いない	379	30.3	19.0	38.8	4.5	1.3	0.5	4.0
就業状況	会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人	126	42.1	42.9	11.9	2.4	0.8	-	-
	パートタイマーやアルバイトの勤め人（学生のアルバイトを除く）	155	37.4	14.2	38.1	7.1	-	-	2.6
	農林漁業の自営業主または家族従業員	13	23.1	23.1	15.4	15.4	7.7	7.7	-
	商工業などの自営業主または家族従業員	20	50.0	30.0	15.0	-	5.0	-	-
	自由業	9	55.6	11.1	22.2	11.1	-	-	-
	学生	7	28.6	14.3	14.3	-	-	-	42.9
	その他	13	46.2	23.1	23.1	7.7	-	-	-

希望-女性

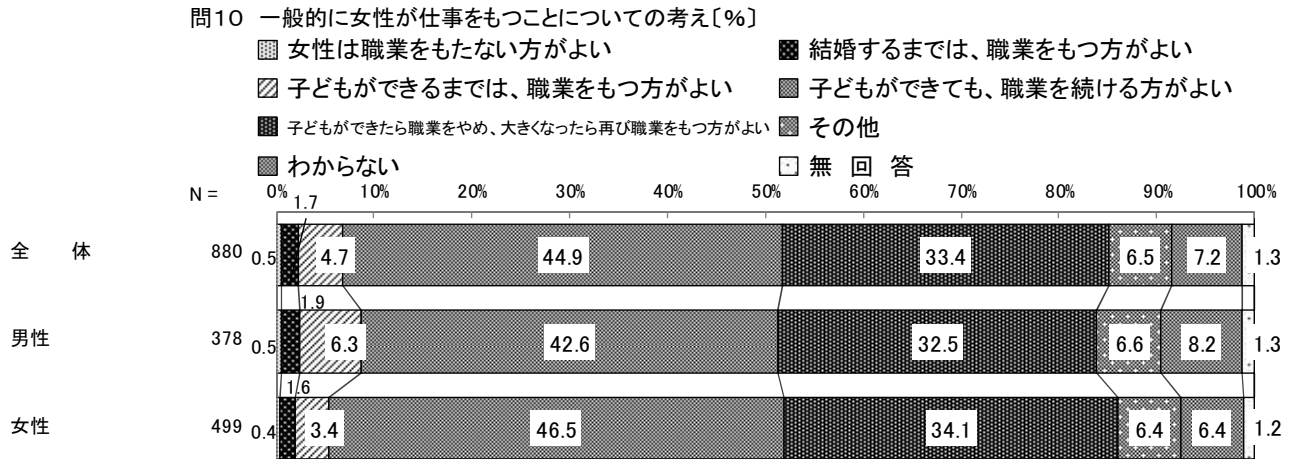
(単位：人、%)

	合計	「仕事」と「家庭生活」ともに優先	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「仕事」「家庭生活」「地域活動」いずれも優先	「仕事」と「地域活動」ともに優先	「地域活動」を優先	わからない	無回答
全体	880	42.3	6.1	27.0	15.0	1.9	0.6	5.3	1.7
子どもの有無	小学校入学前の子どもがいる	52	53.8	-	28.8	17.3	-	-	-
	小学生の子どもがいる	47	44.7	-	34.0	19.1	-	2.1	-
	中学生以上18歳未満の子どもがいる	56	41.1	1.8	39.3	12.5	-	3.6	1.8
	18歳以上の子どもがいる	266	39.1	4.1	34.6	15.8	1.5	0.4	3.4
	いない	123	44.7	9.8	22.0	12.2	0.8	0.8	8.1
要介護や支援を必要とする家族の有無	いる	118	40.7	7.6	28.8	14.4	1.7	4.2	2.5
	いない	379	41.7	4.2	32.5	15.3	0.8	0.5	4.2
就業状況	会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人	126	46.8	5.6	28.6	14.3	1.6	-	3.2
	パートタイマーやアルバイトの勤め人（学生のアルバイトを除く）	155	42.6	3.9	31.6	16.8	-	-	3.9
	農林漁業の自営業主または家族従業員	13	38.5	-	15.4	23.1	7.7	7.7	-
	商工業などの自営業主または家族従業員	20	45.0	10.0	25.0	20.0	-	-	-
	自由業	9	66.7	-	-	33.3	-	-	-
	学生	7	57.1	-	-	28.6	-	-	14.3
	その他	13	46.2	-	46.2	7.7	-	-	-

## 問10 一般的に女性が仕事をもつことについて、あなたはどうかお考えですか。

全体では、「子どもができて、職業を続ける方がよい」が44.9%と最も多く、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が33.4%で続いている。

性別では、「子どもができて、職業を続ける方がよい」が男性、女性ともに最も多く、それぞれ42.6%、46.5%となっている。



### 【詳細分析】

年齢×性別では、「子どもができるまでは、職業をもつ方がよい」が60歳以上の男性で9.4%と多い。

就業状況別では、「子どもができて、職業を続ける方がよい」がどの職業でも最も多く、農林漁業の自営業主または家族従業員で、「子どもができて、職業を続ける方がよい」「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」がともに42.3%となっている。

(単位：人、%)

	合計	女性 は職業を もたない 方がよい	結 婚 す る ま で は、 職 業 を も つ 方 が よ い	子 ど も が で き る ま で は、 職 業 を も つ 方 が よ い	子 ど も が で き て も、 職 業 を 続 け る 方 が よ い	子 ど も が で き た ら 再 び 職 業 を も つ 方 が よ い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	
全体	880	0.5	1.7	4.7	44.9	33.4	6.5	7.2	1.3	
年齢×性別	18～29歳-男性	43	-	4.7	7.0	30.2	32.6	7.0	16.3	2.3
	18～29歳-女性	52	-	1.9	5.8	51.9	26.9	5.8	7.7	-
	30歳代-男性	46	2.2	-	8.7	41.3	26.1	10.9	10.9	-
	30歳代-女性	62	-	1.6	4.8	48.4	30.6	9.7	4.8	-
	40歳代-男性	68	1.5	-	4.4	33.8	36.8	11.8	11.8	-
	40歳代-女性	96	1.0	2.1	3.1	45.8	32.3	8.3	7.3	-
	50歳代-男性	83	-	2.4	1.2	44.6	38.6	3.6	7.2	2.4
	50歳代-女性	115	-	0.9	0.9	49.6	35.7	7.0	4.3	1.7
	60歳以上-男性	138	-	2.2	9.4	50.0	29.0	4.3	3.6	1.4
60歳以上-女性	174	0.6	1.7	4.0	42.5	37.4	4.0	7.5	2.3	
就業状況	会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人	342	0.3	1.8	4.4	47.4	31.6	8.5	5.8	0.3
	パートタイマーやアルバイトの勤め人（学生のアルバイトを除く）	182	0.5	0.5	4.9	48.9	34.1	5.5	5.5	-
	農林漁業の自営業主または家族従業員	26	-	-	3.8	42.3	42.3	3.8	3.8	3.8
	商工業などの自営業主または家族従業員	44	-	-	2.3	52.3	36.4	2.3	6.8	-
	自由業	26	-	3.8	-	38.5	34.6	7.7	7.7	7.7
	学生	9	-	-	-	66.7	22.2	11.1	-	-
	その他	25	-	-	-	40.0	32.0	4.0	16.0	8.0

<前回調査・国調査との比較>

前回調査との比較では、前回は「子どもができて、職業を続ける方がよい」(38.9%)より「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」(41.8%)が多かったが、今回は「子どもができて、職業を続ける方がよい」(44.9%)が「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」(33.4%)を上回っている。

国調査との比較では、「子どもができて、職業を続ける方がよい」が国より9.3ポイント下回っている。

(単位:%)

		女性は職業をもたない方がよい	結婚するまでは、職業をもつ方がよい	子どもができて、職業を続ける方がよい	子どもができて、職業を続ける方がよい	子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい	その他	わからない	無回答
今回調査	全体	0.5	1.7	4.7	44.9	33.4	6.5	7.2	1.3
	男性	0.5	1.9	6.3	42.6	32.5	6.6	8.2	1.3
	女性	0.4	1.6	3.4	46.5	34.1	6.4	6.4	1.2
前回調査	全体	0.6	1.8	5.0	38.9	41.8	6.0	-	6.0
	男性	1.4	2.1	7.2	39.4	37.0	4.8	-	8.2
	女性	0.0	1.7	3.5	38.5	45.2	6.9	-	4.2
国調査	全体	3.3	4.7	8.4	54.2	26.3	1.5	1.6	0.0
	男性	2.8	4.6	7.4	55.3	28.0	1.1	0.7	0.1
	女性	3.8	4.8	9.6	52.9	24.3	1.9	2.7	-

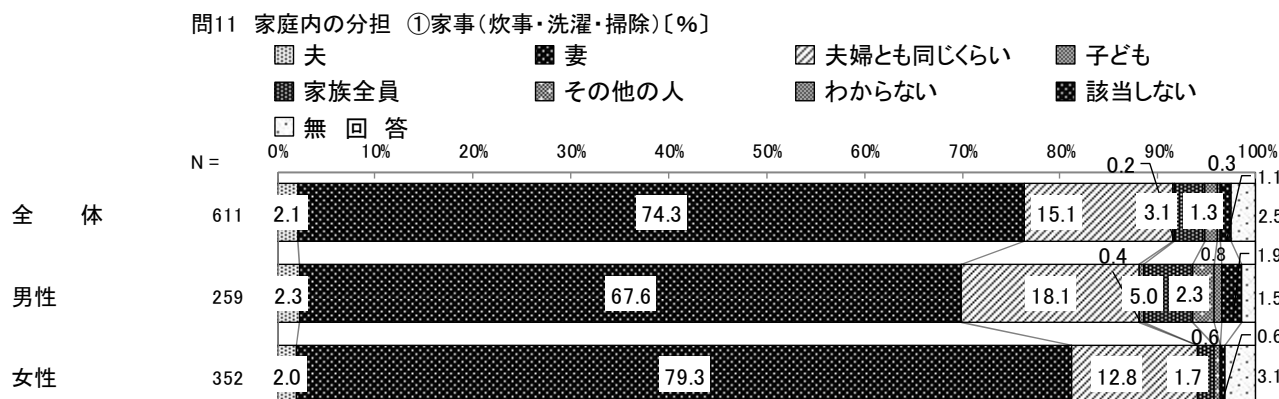
【現在結婚（事実婚や別居中を含む）している方】

問 11 あなたの家庭では、以下の家庭内の仕事（家事等）を、現実には主にどのよう  
に分担していますか。

① 家事（炊事・洗濯・掃除）

全体では、「妻」が74.3%と最も多く、次いで「夫婦とも同じくらい」が15.1%である。

性別では、「妻」が女性で79.3%と多い。男性は「夫婦とも同じくらい」が18.1%とやや多い。



【詳細分析】

年齢×性別では、18～29歳の男性で「夫婦とも同じくらい」が40.0%と多く、40歳代以下の女性は「妻」が80%を超えて多い。

世帯構成別では、「夫婦とも同じくらい」が『夫婦（事実婚を含む）のみ』で17.5%とやや多く、『親と子と孫など（3世代）』と『その他』で10%強とやや少ない。

共働き状況別では、大きな違いはみられない。

(単位：人、%)

	合計	夫	妻	くも ら同 じと	子 ども	家 族全 員	そ の 他	わ か ら ない	該 当 し ない	無 回 答	
全体	611	2.1	74.3	15.1	0.2	3.1	1.3	0.3	1.1	2.5	
年齢×性別	18～29歳-男性	5	-	20.0	40.0	-	20.0	-	20.0	-	
	18～29歳-女性	12	8.3	83.3	-	-	8.3	-	-	-	
	30歳代-男性	29	-	62.1	27.6	-	10.3	-	-	-	
	30歳代-女性	41	-	80.5	14.6	-	2.4	-	-	2.4	
	40歳代-男性	48	2.1	75.0	10.4	-	6.3	4.2	2.1	-	
	40歳代-女性	73	-	84.9	11.0	-	2.7	-	-	1.4	
	50歳代-男性	65	1.5	61.5	21.5	-	1.5	4.6	-	6.2	3.1
	50歳代-女性	89	2.2	76.4	14.6	-	2.2	1.1	-	1.1	2.2
	60歳以上-男性	112	3.6	71.4	16.1	0.9	4.5	0.9	0.9	-	1.8
	60歳以上-女性	137	2.9	77.4	13.1	-	0.7	-	-	0.7	5.1
世帯構成	一人暮らし	2	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	
	夫婦（事実婚を含む）のみ	211	3.3	72.0	17.5	-	1.9	0.5	-	0.9	3.8
	親と子供、夫婦とその親（2世代）	269	0.4	76.6	14.9	-	4.1	1.1	0.4	1.1	1.5
	親と子と孫など（3世代）	62	3.2	71.0	11.3	-	4.8	6.5	-	-	3.2
その他	65	4.6	76.9	10.8	1.5	1.5	-	1.5	1.5	1.5	
共働き	共働きである	374	2.1	73.8	16.0	-	3.7	1.1	0.3	1.6	1.3
	共働きではない	226	1.8	76.1	13.7	0.4	2.2	1.8	-	0.4	3.5

<前回調査・県調査との比較>

前回調査との比較では、「夫婦とも同じくらい」は、前回より食事のしたくが7.8ポイント、洗濯が5.4ポイント増えている。

県調査との比較では、「夫婦とも同じくらい」が県（20.0%）で、本市（15.1%）を上回っている。

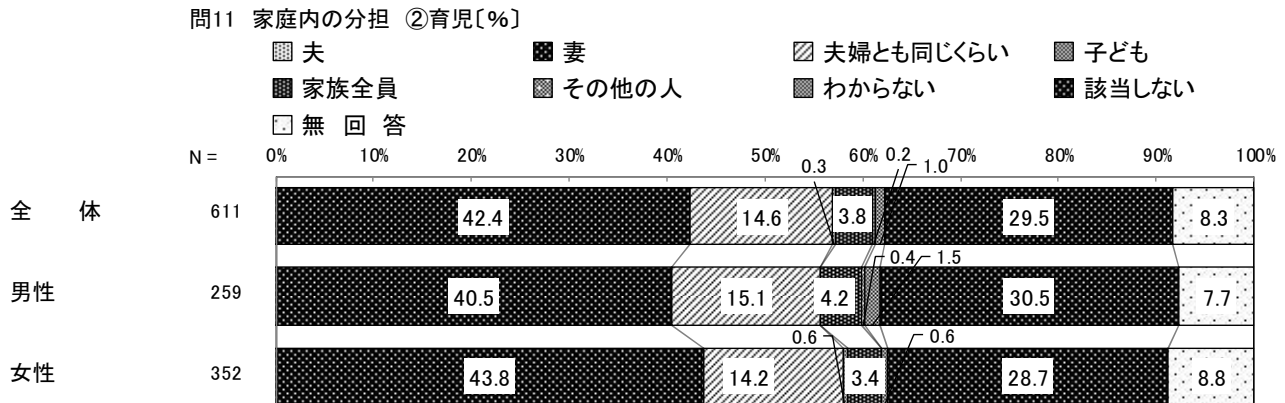
(単位:%)

		夫	妻	夫婦とも同じくらい	子ども	家族全員	その他の人	わからない	該当しない	無回答
今回調査	全体	2.1	74.3	15.1	0.2	3.1	1.3	0.3	1.1	2.5
	男性	2.3	67.6	18.1	0.4	5.0	2.3	0.8	1.9	1.5
	女性	2.0	79.3	12.8	-	1.7	0.6	-	0.6	3.1
し(前回調査) たく)	全体	2.0	78.3	7.3	-	1.0	1.6	0.4	-	9.5
	男性	3.4	74.9	6.8	-	1.0	1.0	0.5	-	12.6
	女性	1.0	81.0	7.5	-	1.0	2.0	0.3	-	7.1
県調査	全体	2.1	77.1	20.0	-	-	0.8	-	-	-
	男性	4.2	70.6	24.6	-	-	0.5	-	-	-
	女性	0.7	81.9	16.3	-	-	1.1	-	-	-

		夫	妻	夫婦とも同じくらい	子ども	家族全員	その他の人	わからない	該当しない	無回答
今回調査	全体	2.1	74.3	15.1	0.2	3.1	1.3	0.3	1.1	2.5
	男性	2.3	67.6	18.1	0.4	5.0	2.3	0.8	1.9	1.5
	女性	2.0	79.3	12.8	-	1.7	0.6	-	0.6	3.1
(前回調査) 洗濯)	全体	4.3	74.5	9.7	0.2	0.8	1.0	-	-	9.5
	男性	4.8	69.1	11.1	0.5	0.5	1.0	-	-	13.0
	女性	4.1	78.6	8.5	-	1.0	1.0	-	-	6.8
県調査	全体	2.1	77.1	20.0	-	-	0.8	-	-	-
	男性	4.2	70.6	24.6	-	-	0.5	-	-	-
	女性	0.7	81.9	16.3	-	-	1.1	-	-	-

## ② 育児

全体では、「妻」が42.4%と最も多く、「夫婦とも同じくらい」が14.6%と続いている。  
性別では、女性で「妻」は43.8%とやや多い。



### 【詳細分析】

年齢×性別では、「妻」が40歳代の男性と、30歳代、40歳代の女性で60%前後と多く、「夫婦とも同じくらい」が18~29歳の女性で33.3%と多い。

世帯構成別では、『親と子供、夫婦とその親（2世代）』で、「妻」が54.6%と多い。

共働き状況別では、『共働きではない』で、「該当しない」が36.7%と多い。

(単位：人、%)

	合計	夫	妻	夫婦とも同じくらい	子ども	家族全員	その他の人	わからない	該当しない	無回答	
全体	611	-	42.4	14.6	0.3	3.8	0.2	1.0	29.5	8.3	
年齢×性別	18~29歳-男性	5	-	40.0	-	-	20.0	-	-	40.0	-
	18~29歳-女性	12	-	33.3	33.3	-	8.3	-	-	25.0	-
	30歳代-男性	29	-	51.7	20.7	-	6.9	-	3.4	17.2	-
	30歳代-女性	41	-	58.5	24.4	-	-	-	2.4	14.6	-
	40歳代-男性	48	-	64.6	14.6	-	6.3	-	2.1	12.5	-
	40歳代-女性	73	-	57.5	28.8	-	4.1	-	-	6.8	2.7
	50歳代-男性	65	-	40.0	15.4	-	1.5	1.5	1.5	30.8	9.2
	50歳代-女性	89	-	50.6	9.0	-	3.4	-	-	32.6	4.5
	60歳以上-男性	112	-	27.7	14.3	-	3.6	-	0.9	41.1	12.5
60歳以上-女性	137	-	28.5	5.1	1.5	3.6	-	0.7	42.3	18.2	
世帯構成	一人暮らし	2	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	夫婦（事実婚を含む）のみ	211	-	27.0	9.0	-	2.4	0.5	-	47.9	13.3
	親と子供、夫婦とその親（2世代）	269	-	54.6	16.0	0.4	3.3	-	1.1	18.6	5.9
	親と子と孫など（3世代）	62	-	38.7	21.0	1.6	11.3	-	1.6	21.0	4.8
	その他	65	-	46.2	20.0	-	3.1	-	3.1	21.5	6.2
共働き	共働きである	374	-	47.1	16.3	0.3	3.7	-	1.1	25.4	6.1
	共働きではない	226	-	35.8	11.5	0.4	4.0	0.4	-	36.7	11.1



### <前回調査・県調査との比較>

前回調査との比較では、今回調査では「該当しない」という選択肢が増えたため、「該当しない」が29.5%となり、「夫婦とも同じくらい」が前回（29.1%）より14.5ポイント低下している。

県調査との比較でも同様に、県では「該当しない」という選択肢がないため、比較が難しい。

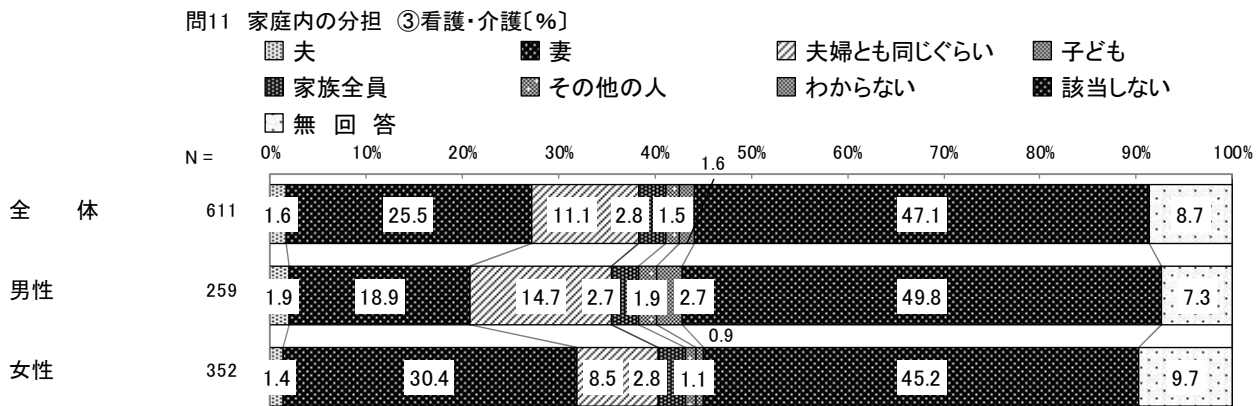
(単位:%)

		夫	妻	夫婦とも 同じくらい	子ども	家族全員	その他の人	わからない	該当しない	無回答
今回調査	全体	-	42.4	14.6	0.3	3.8	0.2	1.0	29.5	8.3
	男性	-	40.5	15.1	-	4.2	0.4	1.5	30.5	7.7
	女性	-	43.8	14.2	0.6	3.4	-	0.6	28.7	8.8
前回調査	全体	1.0	39.5	29.1	0.2	3.2	0.6	4.7	-	21.7
	男性	2.4	30.0	32.9	0.5	2.9	1.4	4.3	-	25.6
	女性	0.0	46.1	26.4	0.0	3.4	0.0	5.1	-	19.0
県調査	全体	0.2	73.7	23.5	-	-	2.6	-	-	-
	男性	0.0	70.5	27.5	-	-	2.0	-	-	-
	女性	0.3	76.4	20.3	-	-	3.0	-	-	-

### ③ 看護・介護

全体では、「妻」が25.5%、「夫婦とも同じくらい」が11.1%となっている。

性別では、男性、女性ともに「妻」が多く、それぞれ18.9%、30.4%となっている。男性では「夫婦とも同じくらい」が14.7%と女性より多い。



#### 【詳細分析】

年齢×性別では、「妻」が50歳代の女性で43.8%と多く、「夫婦とも同じくらい」が50歳代の男性で24.6%と多い。18～29歳の男性は「わからない」が20.0%と多い。

世帯構成別では、『親と子供、夫婦とその親（2世代）』で、「妻」が32.0%とやや多い。

共働き状況別では、大きな違いはみられない。

(単位：人、%)

	合計	夫	妻	夫婦とも同じくらい	子ども	家族全員	その他の人	わからない	該当しない	無回答	
全体	611	1.6	25.5	11.1	-	2.8	1.5	1.6	47.1	8.7	
年齢×性別	18～29歳-男性	5	-	20.0	-	-	-	20.0	60.0	-	
	18～29歳-女性	12	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	30歳代-男性	29	-	10.3	-	-	3.4	3.4	82.8	-	
	30歳代-女性	41	-	22.0	2.4	-	2.4	-	68.3	4.9	
	40歳代-男性	48	-	12.5	8.3	-	8.3	2.1	66.7	2.1	
	40歳代-女性	73	2.7	34.2	4.1	-	4.1	2.7	45.2	6.8	
	50歳代-男性	65	1.5	21.5	24.6	-	1.5	3.1	1.5	38.5	7.7
	50歳代-女性	89	1.1	43.8	15.7	-	-	-	2.2	32.6	4.5
	60歳以上-男性	112	3.6	22.3	16.1	-	1.8	0.9	3.6	40.2	11.6
	60歳以上-女性	137	1.5	24.8	8.8	-	5.1	0.7	0.7	41.6	16.8
世帯構成	一人暮らし	2	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
	夫婦（事実婚を含む）のみ	211	0.9	19.4	11.4	-	1.4	0.5	2.4	49.3	14.7
	親と子供、夫婦とその親（2世代）	269	1.5	32.0	11.5	-	2.2	1.5	1.1	44.6	5.6
	親と子と孫など（3世代）	62	4.8	22.6	12.9	-	6.5	3.2	-	45.2	4.8
	その他	65	1.5	21.5	7.7	-	6.2	3.1	3.1	50.8	6.2
共働き	共働きである	374	1.3	24.9	12.0	-	2.4	0.8	1.9	48.1	8.6
	共働きではない	226	2.2	27.0	9.7	-	3.1	1.8	0.9	46.9	8.4